

令和3年度

相模原市立博物館 年報



 相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

令和4年4月1日

令和3年度年報発刊に寄せて

令和3年度も感染症の影響が色濃く残る1年となりました。

相模原市役所が一丸となって感染症対策に注力する中、博物館も例外ではなく、単発ではワクチン接種会場や軽症者宿泊施設へ、また月単位の長期にわたり感染症関連業務に職員を派遣するなど、人員体制にも大きな影響がありました。

夏季には緊急事態宣言に伴う休館により、企画展などの予定も変更せざるを得ませんでした。

こうした状況ではありましたが、開館時には、十分な感染症対策を施しながら様々な事業、とりわけ、かねてから進めていた庁内外との連携事業を展開することができた1年でもありました。

小惑星探査機「はやぶさ2」図案のマンホールカードの配布開始や、小惑星リュウグウのサンプル公開など、全国的なニュースバリューのある事業を実施できたことも、令和3年度の大きなトピックスです。

生涯学習部内の、また、庁内外との連携事業は、令和4年度に向けての調整も進めていくことができました。

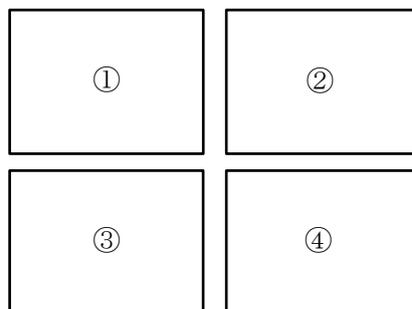
例年実施している事業においても、新しい生活様式に対応する形を模索し、社会情勢に応じた形の実施を試み、年度の後半には、参加者の連絡先を提出していただく方式ではありましたが、企画展の展示解説を動画配信ではなく現地で行うなど、博物館の「日常」の風景を取り戻しつつあることを、参加者のみなさまはもちろん、私たち職員も実感できました。

とは言え、感染症の状況はまだまだ予断を許さず、一度は実施できた事業が、今後はまた中止や延期となることもあるかもしれません。どのような状況であっても、「博物館の使命」というポーラスターを目指して進んでいきたいと考えています。

その時々々の社会の要請に対応しながらも、「学びを止めない」という強い気持ちをもって取り組んだ、令和3年度の記録を、どうぞご覧ください。

相模原市立博物館長 佐々木 春美

表紙の写真



- ①生きものミニサロンの様子
- ②小惑星リュウグウサンプル公開オープニングセレモニーの様子
- ③小惑星リュウグウサンプル公開展示の様子
- ④学芸員実習の様子

目 次

| | | |
|------|--|--------------------|
| I | 相模原市立博物館概要 | 2 |
| | 1 設立の経緯 | |
| | 2 設置目的 | |
| | 3 令和3年度生涯学習部組織目標・博物館重点目標 | |
| | 4 博物館ネットワークの推進 | |
| | 5 相模原市立博物館活動評価書(抜粋) | |
| II | 管理運営 | 7 |
| | 1 組織と事務分掌 | |
| | 2 博物館協議会 | |
| | 3 施設 | |
| | 4 予算 | |
| III | 教育普及・学習支援 | 12 |
| | 1 入館者数 | |
| | 2 博物館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応 | |
| | 3 常設展示 | |
| | 4 企画展(特別展示) | |
| | 5 講座・講演会・教室・観望会などの事業 | |
| | 6 プラネタリウム・全天周映画 | |
| | 7 情報サービスコーナー | |
| | 8 広報・出版等 | |
| | 9 博物館学芸員実習 | |
| | 10 団体利用 | |
| | 11 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用 | |
| | 12 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し | |
| | 13 ネットで楽しむ博物館 | |
| | 14 インターンシップ | |
| | 15 博物館職員の講師依頼等 | |
| | 16 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」 | |
| | 17 市民との協働 | |
| IV | 資料管理 | 36 |
| | 1 博物館収蔵資料点数 | |
| | 2 収集・整理 | |
| | 3 有害生物管理の実施 | |
| | 4 資料の特別利用 | |
| | 5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物 | |
| | 6 全国科学館連携協議会からの借用物 | |
| V | 調査研究 | 43 |
| VI | 市史関連事業 | 44 |
| | 1 収集・整理事業 | |
| | 2 普及事業 | |
| VII | 博物館所管施設 | 45 |
| | 1 尾崎罌堂記念館(緑区又野) | |
| | 2 吉野宿ふじや(緑区吉野) | |
| | 3 入館者数一覧 | |
| VIII | 企画展(特別展示)、プラネタリウム・全天周映画一覧 | 49 |
| IX | 企画展(特別展示)ポスター一覧 | 50 |
| X | 博物館略年表 | 51 |
| 付録 | 相模原市立博物館条例 | 相模原市立博物館条例施行規則 |
| | 相模原市立尾崎罌堂記念館条例 | 相模原市立尾崎罌堂記念館条例施行規則 |
| | 相模原市吉野宿ふじや管理規程 | |

I 相模原市立博物館概要

1 設立の経緯

昭和53年12月、郷土懇話会や文化協会ほか8団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係6団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために＝地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和55年、市の「キャンプ淵野辺留保地整備計画」の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和56年4月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に6か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。相模原市の公共施設として、初めてプロポーザル方式で設計者を選定し、平成5年に着工した。

平成7年11月20日(市制記念日)に開館。開館後は1階の常設展示やプラネタリウムを中心に、企画展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

総入館者数は、平成16年1月に100万人を超え、平成23年8月に200万人、平成31年3月に300万人を超えるなど、毎年、多くの来館者を迎えている。また、多くの市民の会による活動など、近年はボランティアによる活動も盛んになっている。さらに、学校への出張授業や、土器や昔の道具等「貸出しキット」の活用、市内の小学校が来館して学習するなど、学校への支援・連携も積極的に実施している。

2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。(市立博物館条例第2条)

当館の特徴…自然(動物・植物・地質・天文部門)、人文(考古・歴史・民俗部門)両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館(平成7年11月20日神奈川第32号)

3 令和3年度 生涯学習部組織目標・博物館重点目標

令和3年度 生涯学習部組織目標

市民が生涯にわたって学び、学んだことを生かす学習機会を提供します。

そのため、「相模原市総合計画」をはじめ、「第2次相模原市教育振興計画」、「第2次相模原市図書館基本計画」等に基づき、SDGsの推進、共生社会の実現及びシビックプライドの醸成に向けた取組にも積極的に努めながら、多様で質の高い学習機会の充実を図り、活気ある地域づくり推進するため、令和3年度の「生涯学習部」の組織目標を次のとおり定めます。

<重点目標>

『市民が生涯にわたり学び続け、いきいきと暮らす生涯学習社会の創造』

『家族や郷土を愛し、心豊かに暮らす地域社会の形成』

<重点項目>

- 1 市民の多様な学習ニーズに対応するため、公民館、生涯学習センター及び津久井生涯学習センターの事業の充実や施設の環境整備を図る。

- 市民の高い学習意欲や時代の変化を捉えた各種講座、事業等の実施
 - 学習活動を通じた地域を担う人材の育成と仕組みづくりの促進
 - 公民館の改修事業をはじめとする施設の着実な整備と適切な維持管理の推進
 - 住民主体による公民館活動の推進
 - 市民、有識者、行政の協働による淵野辺駅南口周辺まちづくり事業の推進
- 2 文化財の保存及び活用を計画的に進める。
- 埋蔵文化財の適切な調査、保存の推進と公開活用のための整備
 - 郷土に対する愛着と誇りを育むため、市民への文化財の普及、情報発信等、文化財を学び親しむ機会の提供
- 3 図書資料等の提供を中心とした市民の知的活動の支援に一層取り組む。
- 多様な学びを支えるための資料の充実と積極的な情報発信
 - 地域関係機関との連携による図書館の利用促進
 - 市立図書館の中央図書館としての再整備の推進と図書館相武台分館の見直し検討
- 4 地域文化の継承・発信の拠点とした事業の推進を図る。
- 収蔵資料の更なる活用を通じた魅力ある展示の検討
 - 関係機関や団体、学校等と連携し学びの場を提供
 - JAXAとの連携を強化し、特色のある宇宙教育普及事業の推進

令和3年度 博物館重点目標

当館は、地域の総合博物館として、「相模原」の自然、文化並びに天文に親しみ、理解を深める場を提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、いきいきとした市民文化の創造に貢献することを目的としています。

そのため、博物館の使命である、郷土の歴史や文化・自然に関する資料の収集・保存に努め、調査・研究をより一層深めるとともに、その活用を図りながら地域文化を継承し発信拠点となるよう取り組みます。また、学校や関係機関等との連携を促進し、主体的に参加する市民を育成し協働を進めながら、市民文化の向上に資する事業の展開、及び「学び」と「活動」の好循環を生み出す取組に努め、更なる相模原の魅力づくりを推進します。

事業の実施に際しては、SDGs の推進、共生社会の実現及びシビックプライドの醸成を常に念頭に置きながら、令和元年度に策定された『第二次相模原市教育振興計画』の基本方針に則り、具体的な取組を進めます。

また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にかかる対応を徹底しながら、コロナ禍でも実施できること、コロナ禍だからこそできることを模索していきます。

■ 重点目標 ■

- ・郷土への理解を深めるため、収蔵資料の更なる活用を通し、魅力ある展示に努めます。
- ・日ごろの調査研究の成果を生かし、かつ、関係機関や団体、学校等と連携した事業の実施に取り組み、来館者や閲覧者の増加を図るとともに学びの場の提供に努めます。
- ・JAXA等との連携を強化し、プラネタリウム等の特色を生かした宇宙教育普及事業の充実に取り組みます。
- ・市民ボランティア等の育成・充実に取り組み、博物館活動への市民の参画を促進するとともに、協働による事業展開を進めます。
- ・博物館への興味・関心を高めるとともに来館のきっかけとなるよう、多様なメディアを活用し、効果的、魅

力的な情報発信に努めます。

・人(来館者・従事者)にもモノ(収蔵品)にも安全で快適な環境維持のため、計画的で適切な施設の管理に努めます。

■ 重点施策(取り組むべき事業) ■

1 展示・教育普及事業の推進

(1) 考古・歴史・民俗・生物・天文・地質等に関する企画展示、講演会等の実施

(2) 市民ボランティアとの協働による展示の工夫及び事業の実施

(3) JAXA等との連携を重視した宇宙教育普及事業の実施

(4) 尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじや情報発信事業の実施

(5) 市民ボランティアの育成、充実と主体的な活動の促進

2 積極的な情報発信事業の推進

(1) 広報さがみはら、ホームページに加え、ブログ・ツイッター・ユーチューブ等SNSを活用した効果的な情報発信の実施

(2) 機会を捉えた積極的な情報提供の実施

3 施設及び関連施設の維持管理

(1) 計画的な施設維持管理の実施

(2) 来館者の安全・安心を最優先した管理運営の実施

4 市史関連事業の推進

(1) 市史編さん関連資料類の整理・保存及び普及活動の実施

4 博物館ネットワークの推進

博物館所管施設の尾崎罌堂記念館、吉野宿ふじやにおける地元団体への委託事業のほか、社会教育施設等における出張展示や普及・活用事業への学芸員の派遣など連携・協力・助言を行った。その結果、博物館をコア施設と捉え、社会教育施設全体をネットワークと考える多くの場所での学習機会の提供に寄与することができた。

ア 尾崎罌堂記念館展示・普及事業

…「尾崎行雄を全国に発信する会」への委託事業として、ミニ企画展「尾崎行雄の不戦運動」を開催した。

イ 吉野宿ふじや活性化事業

…「NPO法人ふじの里山くらぶ」に委託し、「小淵村の昔むかし」展、「いまきみち・西村繁男・にしむらあつこ 絵本原画」展、「甲州道中－相模湖・藤野・上野原－おひな様」展の3回の企画展を実施した。

ウ 生涯学習部内の連携

…文化財保護課・旧石器ハテナ館・図書館と連携し「世界遺産じゃないけど相模原にもある縄文遺跡群」を開催した。

…市内の生涯学習施設として相互PRを行うため、企画展の出張ミニ展示を市立図書館で実施し、市立図書館ではミニ展示に関係するブックリストを作成した。また、市立図書館・相模大野図書

館・橋本図書館では貸出し図書の貸出期限票の裏面に企画展案内を掲載するなど連携を図った。
…「古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー」として、文化財保護課と相模田名民家資料館、
当館で連携し、相模原市古民家園、小原宿本陣、相模田名民家資料館、当館、吉野宿ふじやにお
いて、同時期にひな人形を展示し、各施設をめぐるスタンプラリーを実施した。

エ JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟出張展示

…博物館とJAXAの連携のひとつとして、JAXA相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟の博物館
紹介コーナーに出張展示を行っている。

5 相模原市立博物館活動評価書(抜粋)

I 相模原市立博物館活動評価の総括

(評価期間:平成29年度～令和元年度)

- 平成20年6月に「博物館法」が改正され、博物館の運営状況の評価やその情報の提供等を行うこととされた。このため当館では、当館の使命及び重点目標等に基づき、定量評価及び定性評価の手法で、博物館協議会による有識者評価を経て、平成23年度～25年度評価、平成26年度～28年度評価に引き続き、第3回目となる平成29年度から令和元年度までの活動について点検・評価を行った。

【当館の使命】

- 地域の歴史や文化・自然に関する資料を調査研究し、また、収集した資料を適切に保存し蓄積するとともに、その活用を図りながら地域文化を継承・発信する拠点となること
- 主体的に参加した市民と協働し、あるいは地域の諸機関と広く連携していく体制を整え、市民文化の向上に資する活動を積極的に展開すること

【評価項目】

- 1 展示教育普及事業の推進
- 2 関連施設・機関との連携
- 3 市民との協働による博物館活動の展開
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすための必要な活動

平成29年度～令和元年度における活動評価全体総括

- 市民と歩む博物館の活動理念を実践し、地域に根差した特色ある活動を展開していることが市民及び有識者から評価された。

具体的には、JAXA宇宙科学研究所と連携した多彩な宇宙教育普及事業の実施をはじめ、図書館や公民館など関連する施設との連携、小中学校をはじめとする学校への学習支援、さらには博物館全体の教育普及事業及び各専門分野でのボランティアとの協働による活動の充実などである。

- 博物館の活動についてネットメディアなどを活用した情報発信は活発に行われている一方で、展示・教育普及活動の市民への周知などは行き届いていない可能性があることについて指摘され、ターゲットを明確にしたきめ細かい広報活動のさらなる充実が求められている。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、さらに地域文化を継承・発信する拠点としての博物館を目指して活動していく。

【定量評価】

- 前回評価期間の平成26年度からの数値を見ても、活発な活動を維持してきたが、評価期間終盤における自然災害や新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館により様々な事業が中止となり、今後はこうした事態も想定する必要がある。そうした中で、市民の学習機会を維持し、博物館として状況に応じた情報の発信や事業の展開を模索していかなくてはならないと考えられる。

【定性評価】

- 1 展示教育普及事業の推進では、「企画展示の実績と常設展示リニューアル」「宇宙教育普及事業の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、質の高い学芸活動や入館料無料が維持されている点などから多くの入館者数を得ている点や、引き続き市民とともに歩む博物館活動を進めている点などが評価された。また、隣接するJAXAとの連携は地域的な特色として今後もさらなる充実が求められている。

一方で、開館から25年を経て今なお常設展示の全面リニューアルが実現できていないことや、多様なニーズに応える展示やPRの手法を検討することが課題として挙げられる。
- 2 関連施設・機関との連携では、「博物館ネットワークの推進」「学校への学習支援」「図書館・公民館等との連携」について評価を行った。

有識者意見からは、関連する施設との連携や講師派遣等の事業支援、連携展示などが進められている点について評価された。また、津久井地域にある所管施設については広報活動の充実や利用促進をはかることが求められた。また、学校との連携に不可欠である指導主事の配置の復活についても課題として挙げられた。
- 3 市民との協働による博物館活動の展開では、「市民の会の活動の展開」「市民学芸員の活動の展開」について評価を行った。

有識者意見からは、多方面にわたる市民との協働が地域博物館の実践的活動として存在感を増していることが評価された。

課題として、会に参加する者が高齢化・固定化して人材の確保が難しくなっている点や、活動範囲の広がりが学芸員の負担増に結び付く可能性についても指摘され、市民の生涯学習の場として円滑な活動支援ができるように体制を見直していくことも必要とされた。
- 4 博物館の基礎的な機能を果たすために必要な活動では、「資料整理及び展示、調査成果の公表」「様々なメディアを用いた情報発信の取組」について評価を行った。

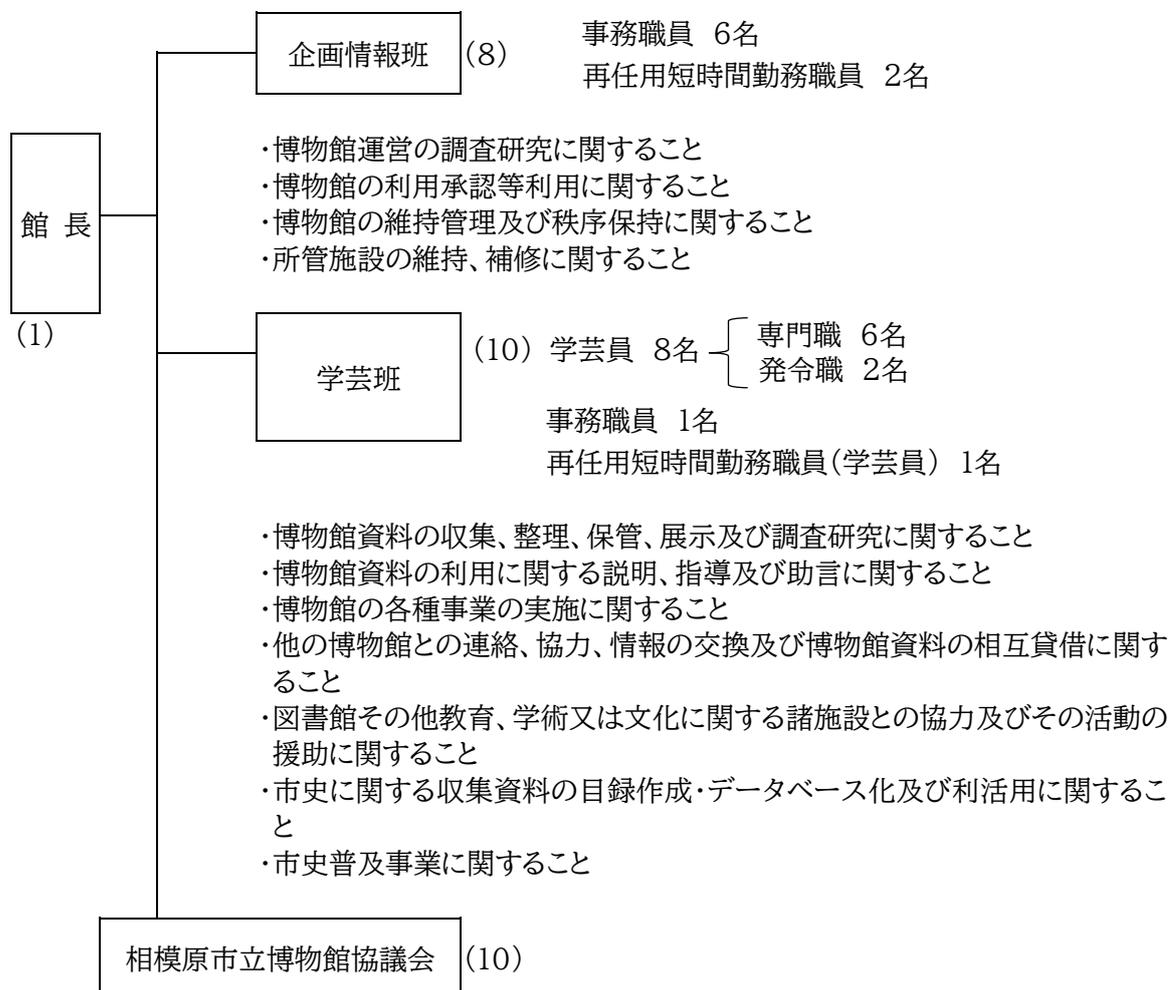
有識者意見からは、増加する館収蔵資料の整理作業を博物館と市民とで協働で実施し、こうした博物館活動の様子を新しいメディアにも対応して情報発信している点についても評価された。

また、博物館の学芸活動の基本を支える学芸員の調査研究活動の環境整備について、改めて充実を図ることが提案された。

II 管理運営

1 組織と事務分掌

令和4年3月31日現在



- ・会計年度任用短時間勤務職員
 - 博物館学習指導員(1)
 - 市史資料調査員(3)
 - 事務補助員(収蔵品整理)(3)
 - 事務補助員(尾崎罌堂記念館施設管理業務)(3)
 - 事務補助員(吉野宿ふじや施設管理業務)(2)
 - 事務補助員(2)

2 博物館協議会

(1)趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

(2)委員構成 任期2年

令和元年11月20日～令和3年11月19日 ◎会長 ○副会長

| 氏 名 | 備 考 | 選出区分 |
|----------|---------------------|-------|
| 沼澤 俊宏 | 小学校校長 | 学校教育 |
| 五十里 雅子 | 高等学校副校長 | |
| 戸塚 厚生 | 市文化財研究協議会会長 | 社会教育 |
| 林 さとみ | 市立小中学校PTA連絡協議会副会長 | |
| ○ 吉川 恵美 | 市女性学習グループ連絡協議会代表 | 家庭教育 |
| ◎ 岩野 秀俊 | 日本大学生物資源科学部特任教授 | 学識経験者 |
| 浜田 弘明 | 桜美林大学教授 | |
| 藤本 正樹(※) | 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授 | |
| 遠藤 正典 | 市民公募 | 市の住民 |
| 谷内 夢賀子 | | |

※令和2年7月1日から委嘱

令和3年11月20日～令和5年11月19日 ◎会長 ○副会長

| 氏 名 | 備 考 | 選出区分 |
|---------|---------------------|-------|
| 藤田 博己 | 小学校校長 | 学校教育 |
| 五十里 雅子 | 高等学校校長 | |
| 大貫 英明 | 市文化財研究協議会副会長 | 社会教育 |
| 篠田 春美 | 市立小中学校PTA連絡協議会副会長 | |
| ○ 吉川 恵美 | 市女性学習グループ連絡協議会代表 | 家庭教育 |
| ◎ 岩野 秀俊 | 元日本大学生物資源科学部特任教授 | 学識経験者 |
| 浜田 弘明 | 桜美林大学教授 | |
| 藤本 正樹 | 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授 | |
| 山本 幸奈 | 市民公募 | 市の住民 |
| 中里 真紀子 | | |

(3)活動状況

| 回 | 開 催 日 | お も な 内 容 |
|---|--------------------------------|--|
| 1 | 7月9日(金) ～7月16日(金) (書面会議) | ・相模原市立博物館活動評価書について ・令和2年度博物館事業報告 ・令和3年度博物館事業計画について |
| 2 | 11月17日(水) | ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う博物館の対応と経過について ・博物館活動評価書に対する今後の対応について |

| | | |
|---|-------------|--|
| 3 | 令和4年2月8日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・博物館協議会の概要及び今後の予定について ・相模原市立博物館活動評価書について ・博物館の活動予定について |
|---|-------------|--|

3 施設

(1)施設概要

- ア 敷地面積 9,999.48㎡
- イ 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨
鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ウ 規模 地下1階・地上3階建て
- エ 建築面積 5,081.03㎡
- オ 延床面積 9,510.24㎡
- カ 休館日 月曜日(休日に当たる日を除く)
休日の翌日(休日・日曜・土曜に当たる日を除く)
年末年始(12月28日～1月3日)
- キ 開館時間 午前9時30分～午後5時

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による運用については、13頁Ⅲ-2参照。

| | 用途・面積 | 主な室 | 内容 |
|-------------------|-----------------------|--|---|
| 展示・教育 | 展示スペース (1,907㎡) | 自然・歴史展示室 (1,170㎡) | 「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。 |
| | | 天文展示室 (127㎡) | 「宇宙とつながる」をテーマに、JAXAから借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。 |
| | | 特別展示室 (487㎡) | 常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。 |
| | 学習スペース (453㎡) | 実習実験室 (90㎡) | 各種講座・観察会等を開催 6卓 48席(※1) |
| | | 情報サービスコーナー (127㎡) | 郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を集集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。(※2) |
| | | 大会議室 (237㎡) | 各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容(※1) |
| プラネタリウム (648㎡) | プラネタリウム (648㎡) | 室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。(※1) | |
| 保管・研究 | 研究スペース (1,038㎡) | 市民研究室 (294㎡) | 自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。(※1) |
| | | 天体観測室 (74㎡) | 口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。 |
| | 収蔵スペース (1,570㎡) | 整理作業室ほか 特別収蔵庫ほか | 博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。 各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。 |
| 管理・共用 | 管理・共用スペース (3,894㎡) | 事務室、喫茶室 ミュージアムショップ ほか | 1階休憩コーナーや軽食のとれる2階喫茶コーナー、市史や図録の他博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。(※1) |

※1 令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実習実験室・大会議室・プラネタリウム(12月24日まで)・天文研究室・休憩コーナー・喫茶室は座席・定員を減らして運用。

※2 令和2年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止。

令和3年度 相模原市立博物館 年報

(2)施設管理業務委託(委託料年間1,000万円以上)

- ・総合管理業務委託 株式会社オーチャー 相模原支店
委託期間 令和3年6月1日～令和6年5月31日
- ・受付業務委託 株式会社ギオン
委託期間 令和3年6月1日～令和5年5月31日
- ・プラネタリウム操作等業務委託(前期分) 株式会社東急コミュニティー
委託期間 令和3年4月1日～令和3年9月30日
- ・プラネタリウム操作等業務委託(後期分) 株式会社東急コミュニティー
委託期間 令和3年10月1日～令和4年3月31日

- (3)消防訓練 令和3年7月8日(木)
令和4年3月16日(水)

4 予 算

(単位:千円)

| 款 | 項 | 目 | 科目名 | 3年度予算額 | 4年度予算額 | 財源内訳 3年度 |
|----|----|----|-------------|---------|---------|-----------------------------|
| 50 | 20 | 05 | 生涯学習施設維持補修費 | 1,465 | 1,442 | 一般財源 1,465 特定財源 0 |
| 50 | 20 | 45 | 博物館費 | 239,059 | 239,172 | 一般財源 214,629 特定財源 24,430 |
| 計 | | | | 240,524 | 240,614 | 240,524 |

博物館費

| 節 | | 説 明 | | |
|---------------|---------|--------------------|---------|---------|
| 区分 | 金額 | 博物館の運営及び維持管理に要する経費 | | |
| | | 経費内訳 | 3年度 | 4年度 |
| 01報酬 | 265 | | | |
| 07報償費 | 1,659 | 1博物館協議会経費 | 290 | 270 |
| 08旅費 | 212 | 2施設運営費 | 43,290 | 46,186 |
| 10需用費 | 53,384 | (1)資料収集保存経費 | 2,670 | 3,362 |
| 11役務費 | 851 | (2)資料調査研究経費 | 1,020 | 1,087 |
| 12委託料 | 171,650 | (3)展示・教育普及事業経費 | 4,038 | 4,265 |
| 13使用料及び賃借料 | 10,855 | (4)プラネタリウム事業経費 | 35,240 | 37,150 |
| 17備品購入費 | 71 | (5)その他運営費 | 322 | 322 |
| 18負担金、補助及び交付金 | 112 | 3施設維持管理費 | 182,981 | 190,983 |
| 26公課費 | 0 | 4博物館施設整備事業費 | 10,787 | 0 |
| | | 5市史関連事業 | 127 | 23 |
| | | (1)市史関連事業費 | 127 | 23 |
| | | 6一般事務費 | 1,584 | 1,710 |
| 合計 | 239,059 | 合計 | 239,059 | 239,172 |

Ⅲ 教育普及・学習支援

1 入館者数

(1) 令和3年度計 **83,550 人** (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

※緊急事態宣言の発令に伴い、令和3年8月6日～9月30日休館

(2) 総 計 **3,277,647 人**

(3) 詳 細

| 月 | 入館者数 | プラネタリウム総数 | プラネタリウム内訳 | | | 特別展 | 星空観望会 | 講演会 講座等 | 企画展 関連事業 | 観覧料 | 開館日 数 | 1日 平均 |
|--------|--------|-----------|-----------|-----------|-------|--------|-------|------------|-------------|------------|----------|----------|
| | | | 一般投影 | 全天周 映画 | 学習投影 | | | | | | | |
| 令和3年4月 | 7,050 | 1,393 | 864 | 529 | - | 4,594 | 15 | 38 | - | 473,550 | 25 | - |
| 5月 | 7,115 | 2,160 | 978 | 794 | 388 | 3,969 | - | 11 | - | 647,040 | 26 | - |
| 6月 | 7,689 | 2,444 | 1,000 | 677 | 767 | 5,379 | - | 59 | - | 635,730 | 24 | 320 |
| 7月 | 10,952 | 3,587 | 1,766 | 1,412 | 409 | 6,302 | - | 74 | - | 1,076,830 | 28 | 391 |
| 8月 | 2,241 | 930 | 534 | 396 | - | 1,841 | - | 745 | - | 289,050 | 5 | 448 |
| 9月 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 10月 | 10,282 | 3,212 | 1,303 | 946 | 963 | 5,610 | - | 23 | - | 872,960 | 27 | 381 |
| 11月 | 8,512 | 2,535 | 1,121 | 773 | 641 | 5,197 | - | 12 | - | 729,610 | 23 | 370 |
| 12月 | 10,459 | 2,727 | 1,183 | 737 | 807 | 5,280 | - | 3,635 | - | 772,470 | 25 | 418 |
| 令和4年1月 | 5,944 | 2,157 | 1,078 | 722 | 357 | 2,259 | - | 20 | - | 647,700 | 22 | 270 |
| 2月 | 6,600 | 2,242 | 1,161 | 683 | 398 | 4,294 | - | 230 | 56 | 671,860 | 23 | - |
| 3月 | 6,706 | 2,313 | 1,307 | 714 | 292 | 3,002 | - | 148 | 78 | 661,750 | 28 | 240 |
| 令和3年度計 | 83,550 | 25,700 | 12,295 | 8,383 | 5,022 | 47,727 | 15 | 4,995 | 134 | ¥7,478,550 | 256 | 326 |

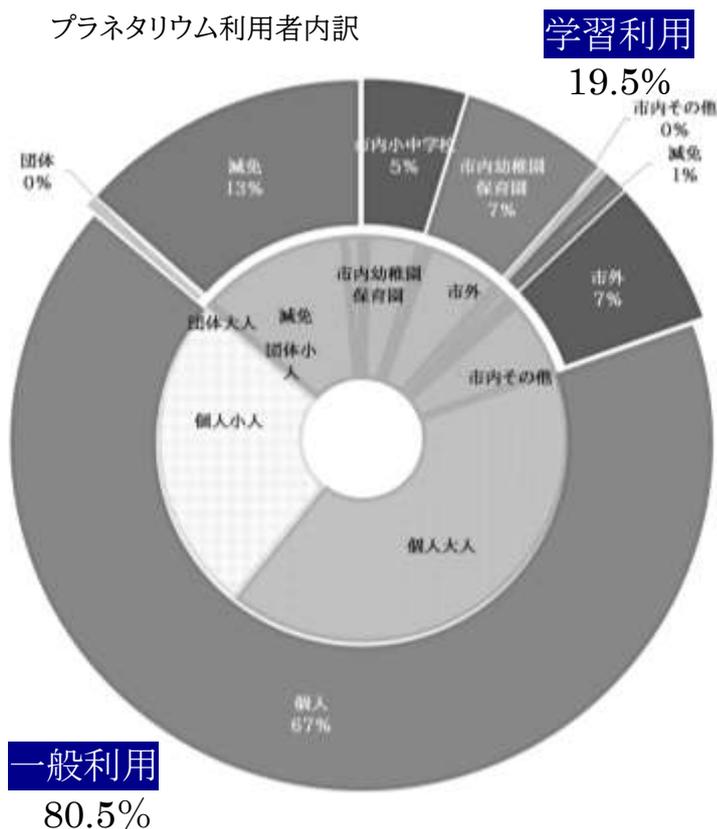
*(参考)開館からの総計

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|--------|---------|-------|--------------|-------|-----|
| 平成7年度 | 78,395 | 38,262 | 16,796 | 12,688 | 8,778 | 22,199 | 618 | 836 | | ¥11,099,520 | 107 | 733 |
| 8年度 | 125,599 | 58,023 | 26,849 | 20,571 | 10,603 | 36,682 | 1,237 | 3,186 | | ¥18,187,120 | 300 | 419 |
| 9年度 | 105,793 | 43,355 | 18,654 | 16,055 | 8,646 | 28,388 | 1,104 | 3,167 | | ¥12,233,880 | 300 | 353 |
| 10年度 | 107,306 | 45,038 | 18,577 | 17,747 | 8,714 | 24,779 | 624 | 5,696 | | ¥12,820,900 | 299 | 359 |
| 11年度 | 115,031 | 53,660 | 20,759 | 23,651 | 9,250 | 36,670 | 665 | 5,255 | | ¥15,325,720 | 295 | 390 |
| 12年度 | 111,161 | 46,879 | 17,302 | 18,777 | 10,800 | 31,658 | 634 | 5,258 | | ¥11,921,600 | 302 | 368 |
| 13年度 | 132,776 | 59,062 | 20,169 | 28,312 | 10,581 | 57,647 | 910 | 4,574 | | ¥14,329,780 | 305 | 435 |
| 14年度 | 119,068 | 48,791 | 19,702 | 18,277 | 10,812 | 55,672 | 925 | 4,277 | | ¥12,221,160 | 303 | 393 |
| 15年度 | 126,120 | 53,625 | 18,655 | 24,859 | 10,111 | 51,538 | 1,133 | 6,873 | | ¥13,904,050 | 302 | 418 |
| 16年度 | 111,610 | 45,780 | 19,555 | 16,139 | 10,086 | 39,551 | 1,050 | 5,148 | | ¥11,562,090 | 300 | 372 |
| 17年度 | 116,552 | 52,466 | 19,404 | 22,223 | 10,839 | 47,479 | 844 | 5,725 | | ¥12,776,280 | 301 | 387 |
| 18年度 | 113,605 | 52,948 | 16,783 | 25,516 | 10,649 | 49,588 | 773 | 6,896 | | ¥14,321,720 | 303 | 375 |
| 19年度 | 122,375 | 49,875 | 15,973 | 23,156 | 10,746 | 58,218 | 925 | 8,245 | | ¥13,369,000 | 304 | 403 |
| 20年度 | 128,124 | 52,294 | 18,612 | 22,017 | 11,665 | 58,436 | 1,294 | 11,517 | | ¥13,831,800 | 303 | 423 |
| 21年度 | 136,000 | 50,540 | 16,458 | 23,109 | 10,973 | 64,653 | 1,846 | 9,681 | | ¥13,679,160 | 303 | 449 |
| 22年度 | 182,880 | 78,991 | 22,457 | 44,068 | 12,466 | 103,988 | 1,861 | 6,249 | | ¥25,095,880 | 301 | 608 |
| 23年度 | 137,608 | 61,648 | 24,887 | 24,099 | 12,662 | 70,716 | 1,283 | 9,438 | | ¥17,780,860 | 306 | 450 |
| 24年度 | 138,619 | 55,377 | 30,731 | 12,011 | 12,635 | 68,305 | 2,228 | 9,100 | | ¥15,274,420 | 307 | 452 |
| 25年度 | 138,660 | 55,905 | 26,798 | 16,260 | 12,847 | 76,722 | 2,369 | 10,114 | | ¥15,334,880 | 306 | 453 |
| 26年度 | 126,631 | 51,816 | 21,996 | 18,588 | 11,232 | 66,370 | 1,998 | 11,344 | | ¥13,971,950 | 303 | 418 |
| 27年度 | 132,201 | 53,432 | 23,030 | 19,518 | 10,884 | 71,865 | 1,685 | 10,114 | | ¥14,303,490 | 304 | 435 |
| 28年度 | 125,194 | 54,814 | 26,506 | 17,075 | 11,233 | 68,283 | 1,615 | 12,167 | | ¥14,568,880 | 303 | 413 |
| 29年度 | 137,996 | 59,245 | 24,038 | 23,530 | 11,677 | 72,876 | 1,588 | 16,941 | | ¥15,673,280 | 304 | 454 |
| 30年度 | 136,450 | 56,530 | 27,025 | 18,639 | 10,866 | 73,069 | 1,681 | 11,841 | | ¥14,551,270 | 304 | 449 |
| 令和元年度(※1) | 138,573 | 55,195 | 22,585 | 21,901 | 10,709 | 78,289 | 1,343 | 8,962 | 2,594 | ¥13,999,290 | 278 | 498 |
| 2年度(※2) | 49,770 | 14,323 | 6,816 | 5,942 | 1,565 | 15,275 | - | 1,542 | - | ¥4,433,660 | 195 | 255 |
| 3年度 | 83,550 | 25,700 | 12,295 | 8,383 | 5,022 | 47,727 | 15 | 4,995 | 134 | ¥7,478,550 | 256 | 326 |
| 総 計 | 3,277,647 | 1,373,574 | 553,412 | 543,111 | 277,051 | 1,476,643 | 32,248 | 199,141 | 2,728 | ¥374,050,190 | 7,794 | 421 |

※1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月8日(月)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)休館(「はやぶさ2」帰還カプセル世界初公開展示期間(3月12日(金)～3月16日(火))は往復はがきでの抽選による当選者にのみ公開)及び令和2年4月1日(水)～6月18日(木)プラネタリウム休止

プラネタリウム利用者内訳



| | | | | |
|------|--------------|---------------|--------|--------|
| 学習利用 | 市内小中学校 | 大人 | 81 | 5,022 |
| | | 小人 | 1,118 | |
| | 市内幼稚園 保育園 | 大人 | 178 | |
| | | 小人 | 1,552 | |
| | 市内その他 | 大人 | 93 | |
| | | 小人 | 2 | |
| | 減免 | 障害・介護・高齢・視察 | 273 | |
| 市外 | 大人 | 160 | | |
| | 小人 | 1,565 | | |
| 一般利用 | 個人 | 大人 | 10,565 | 20,678 |
| | | 小人 | 6,574 | |
| | 団体 | 大人 | 35 | |
| | | 小人 | 75 | |
| | 減免 | 障害・介護・ひとり親・視察 | 2,229 | |
| | | 高齢 | 1,200 | |

2 博物館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応

| 月 | 博物館の対応と経過 |
|-----|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> 1日(木) プラネタリウムの座席数を貸切投影は70～80席から100席に変更 ・大会議室の人数を最大70～80人から100人程度に変更 6日(火) プラネタリウム投影回数を3回から4回に変更、投影開始時間を変更 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> 6日(金) 緊急事態宣言の発令に伴い博物館、尾崎弴堂記念館、吉野宿ふじやを休館 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> 1日(金) 緊急事態宣言の解除に伴い博物館、尾崎弴堂記念館、吉野宿ふじやを再開(*) 26日(火) リバウンド防止措置期間の解除に伴いプラネタリウムの座席数を一般投影は70席から100席、貸切投影は定員(210席)に変更 |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> 24日(金) プラネタリウムの座席数を一般投影も100席から定員(210席)に変更 |

* 10月1日(金)の再開と同時に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に「新型コロナワクチン接種済みでも」と追記して掲示

新型コロナウイルス感染防止対策(ホームページ掲載内容)

○来館者へのお願い

- ・入館にはマスクの着用をお願いします。マスクのない方の入館はご遠慮ください。
- ・37.5℃以上の発熱がある方、咳・咽頭痛などの症状がある方の入館はご遠慮ください。
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方の入館はご遠慮ください。
- ・入館時に手指の消毒をお願いします。
- ・入館時に検温を実施しています。
- ・館内の一方通行にご協力ください。
- ・他の来館者との間隔を開けてください。
- ・展示室内では大声での会話を控えください。

- ・展示ケース、壁にはお手を触れないようお願いします。
- ・混雑時は入館の制限をすることがあります。

○当館の取組み

- ・入館時の検温の実施
- ・館内の消毒、清掃、扇風機や送風機での換気の実施
- ・手指用消毒液の設置
- ・職員のマスクやフェイスシールドの着用
- ・受付での飛沫感染防止用シートの設置

3 常設展示

常設展示は、「自然・歴史展示室」と「天文展示室」の2つ。

「自然・歴史展示室」は、「川と台地と人々の暮らし」を全体テーマとし、「台地の生い立ち」、「郷土の歴史」、「くらしの姿」、「人と自然のかかわり」、「地域の変貌」の5つのテーマに分けられている。相模原の自然・歴史について実物資料、レプリカ、映像、解説パネルなどにより学ぶことができる。

「天文展示室」は、「宇宙とつながる」をテーマに、宇宙の映像や隕石資料、太陽のライブ映像、JAXAとの連携展示などを通して、宇宙と自分をつなげて考える場を提供している。

4 企画展(特別展示) ※は実施予定日

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|---|-----------------------|-------------------------------|---|
| 1 | 考古企画展 「変化の時代を生きた縄文人 —相模原市域の縄文時代中・ 後期文化—」 | 4月1日(木)～ 5月9日(日) | 6,984人 | 相模原市内を中心に縄文時代中期から後期にかけての人々の暮らしや、村の様子とその変化を紹介した。 |
| | 【動画配信】 展示解説 | 4月8日(木)～ | 延べ439回 (視聴回数) (3月31日時点) | ○解説 当館学芸員 |
| 2 | 東京オリンピック・パラリンピックに向けた関連企画展「相模原にオリンピックがくる」 | 5月22日(土)～ 7月4日(日) | 8,234人 1日平均228人 | 相模原での1964年の東京オリンピック関係資料紹介と東京2020大会のPRを行った。 |
| | 【動画配信】 展示解説 | 6月10日(木)～ | 延べ237回 (視聴回数) (3月31日時点) | ○解説 当館学芸員 |
| | 東京オリンピック・パラリンピック記念ピンバッジ配布 | 5月22日(土)～ 7月4日(日) | 2,319個 | オリンピック・パラリンピックエンブレムのピンバッジをエントランスで配布した。 |
| | 聖火リレートーチ巡回展示 | 6月18日(金)～ 6月20日(日) | 1,487人 | ○運営 相模原市(オリンピック・パラリンピック推進課) |
| | 2020大会直前・PRミニ展示 | 7月6日(火)～ 9月5日(日)※ | 11,481人 | 東京2020オリンピック・パラリンピック大会の直前PRミニ展示。大会開催中は、順次出場結果などを追加展示した。 |
| | | | | ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月5日(木)で終了 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|---|---|---|----------------------------------|--|
| 3 | 博物館・公文書館共催 相模原町誕生 80周年企画「軍都さがみはら展～国内最大の町誕生物語～」 | 7月17日(土)～ 8月29日(日)※ | 6,867人 1日平均 361人 | 当時国内最大面積の相模原町誕生 80 年を記念し、市域にあった陸軍施設やいわゆる「軍都計画」について紹介した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 8月5日(木)で終了 |
| | 【動画配信】 展示解説 (前半 12分・後半 14分) | 8月12日(木)～ | 延べ 934回 (視聴回数) (3月31日時点) | ○解説 当館学芸員 |
| | 職員ブログ各コーナー解説 | 8月18日(水)～ 10月17日(日) | 全 7回 | 各コーナーについて解説文と写真で紹介。また、解説動画のPRや『相模原市史』などの参考文献を紹介した。 |
| 4 | 「わお！な生きものフォトコンテスト写真展」 | 7月22日(土)～ 8月29日(日) | 5,690人 1日平均 379人 | 公益財団法人日本自然保護協会とソニー株式会社が進める「わお！わお！生物多様性プロジェクト」の一環として実施しているフォトコンテストの入賞作品を展示した。 ※2と同時開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 8月5日で終了 |
| 5 | 天文企画展 JAXA連携企画展「相模原と月」 | 9月14日(火)～ 10月17日(日)※ | 5,037人 1日平均 336人 | 「相模原市と月」をテーマに写真や映像、月にまつわる行事、市内で行われている月探査の最新情報等を併せて紹介する展示を行った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 10月1日から開催 |
| | 【インターネット・動画配信】 オンラインイベント「JAXA の月探査：なぜ人類はまた月を目指すのか？」 | 9月4日(土)～ | 延べ 2,848回 (視聴回数) (3月31日時点) | JAXA の月探査について最新の話題を、JAXA 研究者 6 名がリレー形式で講演。 |
| | 世界中で月を見上げて過ごす夜(JAXA & NASA 連携イベント) | 10月16日(土)～ | 延べ 193回 (視聴回数) (3月31日時点) | プラネタリウムで月の講演(事前収録)を行った後、天体望遠鏡を使い、月を観望する予定だったが、新型コロナウイルスの影響と悪天候により中止。代替として、YouTube 公式チャンネル相模原市立博物館「ネットで楽しむ博物館」に、以前撮影した月について解説や見所を紹介した動画を公開。 |
| | 【動画配信】 展示解説 「相模原から見た月」6分 「相模原と月にまつわる行事」5分 「相模原から見た月」14分 | 10月16日(土)～ | 延べ 899回 (視聴回数) (3月31日時点) | ○解説 当館学芸員、JAXA 職員 |
| 6 | 学習資料展 「道具が変わるわたしの暮らし～過去から未来へ向かう記憶～2」 | 10月30日(土)～ 1月10日(月祝) | 12,810人 1日平均 232人 | 道具の変化からくらしが変わっていったことを、実物資料と実体験エピソードから紹介した。 |
| | 体験チャレンジ「ぶんぶんこま」 | 12月25日(土)・ 26日(日)、1月8日(土)・ 9日(日)・10日(月・祝) | 592人 | ぶんぶんこまの遊び方の動画上映。ぶんぶんこまのキットを配布した。 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|---|--|---------------------------------|------------------------------|---|
| 7 | 考古企画展「古代相模原台地の開発」 | 1月29日(土)～ 3月13日(日) | 6,468人 | 市内の古墳時代末から平安時代までの遺跡から分かる古代の開発や、集落の移り変わりや、人々の信仰などを紹介した。 |
| | ギャラリートーク | 2月6日(日) 2月27日(日) 3月13日(日) | 延べ78人 | ○解説 当館学芸員 |
| | 【動画配信】 展示解説 | 2月25日(金)～ | 延べ96回 (視聴回数) (3月31日時点) | ○解説 当館学芸員 |
| 8 | 館野鴻絵本原画展「がろあむし 描かれた相模原の自然」 | 3月26日(土)～ 6月5日(日) | 1,327人 (3/31まで) | 相模原市内で調査、取材が進められた絵本の原画を展示し、地下に生きる生きもたちの生態や、館野氏の作品世界の創作過程に迫った。 |
| | 館野鴻トークショー 「徹底的に観察して描いたらこうなった！館野鴻の仕事の流儀」 | 3月26日(土) | 56人 | 館野氏による絵本『がろあむし』の朗読をはじめ、制作過程や調査にまつわるエピソードなどが紹介された。 |

5 講座・講演会・教室・観望会などの事業 ※は実施予定日

(1)ミニ展示(全25件)

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|---------------------------------|-----------------------|---------------------|--|
| 1 | 市史ミニ展示(第8回)「相原村の電気事情」 | 1月9日(土)～ 5月30日(日) | 20,855人 | 旧相原村の電気事情について、同村の役場資料から当時の東京電灯と旧相原村の交渉を紹介。 新型コロナウイルスによる休館のため、3月28日までの会期を5月30日まで |
| 2 | ミニ展示「雑誌や記録集でみる1964 東京オリンピック」 | 3月23日(火)～ 5月9日(日) | 10,223人 | 博物館のオリンピック関係収蔵品である雑誌や記録集を展示。 新型コロナウイルスの影響で延期(博物館再開後) 延期前:1月15日～2月28日 |
| 3 | 開館25周年記念 博物館×相模女子大学～コラボ衣装展「わ!」～ | 3月23日(火)～ 5月13日(木) | 12,806人 | 開館25周年を記念して、相模女子大学の学生が歴史や自然をテーマに制作した衣装を展示。 新型コロナウイルスの影響で延期(博物館再開後) 延期前:2月26日～3月31日 |
| 4 | ミニ展示「ミニ下水道ワールド～まんぼーる編～」 | 3月23日(火)～ 5月16日(日) | 11,614人 (4月1日から) | 市下水道部との共催でマンホールに関する展示や各種のマンホールカードを紹介。 |
| | 「はやぶさ2」カプセル帰還記念デザインマンホールカード配布 | 4月25日(日)～ | 9,988枚 (3/31まで) | 「はやぶさ2」のカプセル帰還を記念してデザインマンホール蓋を設置し、そのデザインのマンホールカードを配布 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|----|---|-------------------------|------------------------------|---|
| 5 | 東京 2020 大会開幕 100 日前記念イベント 公式アートポスター展(オリンピック) | 4月14日(水)～ 4月18日(日) | 1,098人 | (公財)オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会により、国内外のアーティストがオリンピックをテーマに制作した芸術作品をアートポスターに展開し、展示。 |
| 6 | 東京 2020 大会開幕前 100 日前記念イベント公式アートポスター展(パラリンピック) | 5月16日(日)～ 5月21日(金) | 947人 | (公財)オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会により、国内外のアーティストがパラリンピックをテーマに制作した芸術作品をアートポスターに展開し、展示。 |
| 7 | ミニ展示「相模原の謎の火山灰」 | 5月22日(土)～ 7月25日(日) | 18,382人 | 相模原市西部の山間部の地層中に見られる火山灰を紹介した。 |
| 8 | はやぶさ WEEK (はやぶさ2ミッション解説パネルリバイバル展示) | 6月5日(土)～ 6月13日(日) | 2,837人 | 小惑星探査機「はやぶさ2」ミッションの軌跡を紹介したパネル(33枚)を展示。 |
| | チェキ撮影会 | 6月13日(日) | 20組37人 | フотスポットでチェキ撮影会を実施した。 |
| 9 | 東京 2020 大会聖火リレー トーチ展示 | 6月18日(金)～ 6月20日(日) | 1,487人 | 県内巡回展示の一環。リレーの公道走行が県内中止となり、トーチを間近で見られる貴重な機会となった。 ○運営 相模原市オリンピック・パラリンピック推進課 |
| 10 | 2020 大会直前・PRミニ展示 (再掲) | 7月6日(火)～ 9月5日(日)※ | 11,481人 | 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の直前 PR ミニ展示。大会開催中は、順次出場結果などを追加展示した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月5日(木)で終了 |
| 11 | ミニ展示「衣服を買う・作る・学ぶ」 | 7月7日(水)～ 11月30日(火)※ | 30,102人 | 収蔵資料の中から、衣服を作る・買う等の衣服の調達に関する資料を展示した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月5日(木)で一旦終了、10月1日から再開 |
| 12 | 文化財×博物館×図書館×旧石器ハテナ館連携事業 川尻石器時代遺跡史跡指定90周年ミニ展示 | 7月31日(土)～ 10月31日(日)※ | 8,365人 | 史跡川尻石器時代遺跡について、史跡指定の経緯や、出土品から紹介。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月5日(木)で一旦終了、10月1日から再開 |
| | 【動画配信】 展示解説 | 9月16日(木)～ | 延べ96回 (視聴回数) (3月31日時点) | ○解説 当館学芸員 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|----|----------------------------|---|----------------------------|--|
| 13 | 博物館×市交通政策課「相模線100周年記念ミニ展示」 | 8月1日(日)～ 9月5日(日)※ | 8,365人 | 相模線開業100周年、市内延線90周年及び車両電化30周年を記念して、市交通政策課と共催で相模線に関するミニ展示を開催した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため終了日を10月31日(日)まで延長 |
| 14 | 市史ミニ展示(第9回)「時の景色 荒川」 | 8月21日(土)～ 10月17日(日) | 6,523人 | 津久井郡の旧太井村北部に位置していた荒川地区は、現在、城山ダムの建設に伴い津久井湖となった。写真、パネルなどでありし日の荒川地区を紹介した。 |
| 15 | 実習生展 | ①8月27日(金)～ 3月31日(火) ②9月23日(木)～ 11月28日(日) ③9月1日(水)～ 12月14日(火) ④10月1日(金)～ 10月17日(日) ⑤9月11日(日)～ 12月14日(火) | 延べ 48,503人 (3月31日時点) | 考古・歴史・民俗・生物・地質・天文分野の博物館実習生がまとめた実習成果を紹介。 ①考古分野 ②歴史分野 ③生物分野 ④民俗・天文分野 ⑤地質分野 |
| 16 | 学びの収穫祭(全2回) | 11月2日(火)～ 28日(日) | 8,302人 | 博物館を拠点に活動するボランティアグループなどの研究・活動の発表を行った。 |
| 17 | ミニ企画展「尾崎行雄の不戦運動」 | 11月6日(土)～ 12月19日(日) | 16,093人 | 尾崎行雄の不戦運動から100年目にあたることから、不戦運動の内容、刊行物、原稿などを展示し、尾崎の政治活動の一端を紹介した。 ○企画・運営 尾崎行雄を全国に発信する会 |
| 18 | ミニ展示「あこがれのテレビ」 | 12月1日(水)～ 5月10日(火) | 29,709人 | 博物館を拠点に活動するボランティアグループなどの研究・活動の発表会を行った。 |
| 19 | はやぶさ2帰還1周年記念WE EK | 12月7日(火)～ 12日(日) | 5,209人 | 「小惑星リュウグウサンプル公開」に合わせて、「はやぶさ2」1/10模型や「はやぶさ2」解説パネル(33枚)のリバイバル展示などを行った。 |
| 20 | 令和3年「宇宙の日」記念 作文絵画コンテスト 作品展 | 12月18日(土)～ 3月31日(木) | 21,556人 | 9月12日の「宇宙の日」にちなんで開催した全国小・中学生作文絵画コンテストについて、当館で受賞した作品17点を展示。 |
| 21 | 十二支ミニ展示「寅(とら)」 | 12月15日(水)～ 1月10日(月・祝) | 5,211人 | 令和4年の干支である「壬寅(みずのえとら)」にちなみ、十二支の「寅(とら)」に関連する博物館資料を紹介した。 |
| 22 | 市史ミニ展示「陸軍士官学校移転と麻溝村」 | 12月19日(日)～ 2月27日(日) | 14,515人 | 昭和初期まで農村地帯であった相模原市域において、最も早く建設された陸軍士官学校を受け入れることとなった麻溝村の動きを新聞や地図などから紹介した。 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|----|---|--------------------------|---------------------|--|
| 23 | 大河ドラマ鎌倉殿の13人 関連ミニ展示「鎌倉時代初めの相模原の武士団 横山党」 | 1月15日(土)～ 3月13日(日)※ | 13,078人 | NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にちなみ相模原の鎌倉時代初期の武士団「横山党」や13人の1人で市内に伝承がある和田義盛などに関するミニ展示を行った。 ※都合により終了日を3月16日(水)まで延長 |
| 24 | 市史ミニ展示「昭和初期の串川村絵はがき」 | 3月13日(日)～ 5月22日(日) | 4,357人 (3月31日時点) | 串川絵はがきから、地域の公共施設や産業施設、学校、神社仏閣などの当時の串川の風景を紹介した。 |
| 25 | 東京2020大会レガシー関連ミニ展示 | 3月19日(土)～ 5月15日(日) | 3,248人 (3月31日時点) | 東京2020大会のレガシー(遺産)として博物館に設置された、オリンピック・パラリンピック選手村で使用された津久井産材を活用したソファールとともに、表彰台の実物、選手村で使用された自転車など博物館保管の東京2020大会関連資料を紹介。 |
| | 東京オリンピック・パラリンピック記念ピンバッジ配布 | R4年3月19日(土)～ 3月21日(月) | 270人 | 相模原市オリンピック・パラリンピック推進課より提供されたピンバッジをアンケート回答者へ配布した。 |
| | 東京オリンピック・パラリンピック記念タオルマフラー・クリアファイル等配布 | R4年3月19日(土)～ 5月15日(日) | 402人 (3月31日時点) | アンケートに回答した方にいずれか1つ配布した。 |

*ミニ展示の「来場者」は、期間中の入館者数

(2) 通年事業(全2件)

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|-----------------|---|--------|--|
| 1 | 生きものミニサロン(全11回) | 4月3日(土)～ 3月19日(土) (月1回土曜日に開催) ※4月は3日に臨時開催、8月、9月は中止。 | 延べ214人 | 博物館周辺で身近な生きものの観察を実施。8月と9月の対面開催は中止し、ウェブ版生きものミニサロンとして3本の動画を配信した。 ○講師 当館学芸員ほか ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月28日(土)、9月25日(土)は中止 |
| 2 | 星空観望会(全12回) | 4月17日(土)～ 3月19日(土)※ (月1回土曜日に開催・定員各回30人) ※4月17日(土)のみ実施。 | 15人 | 季節に応じた天体の観望を通し、天文知識の普及を行った。 ○講師 当館学芸員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月以降は中止 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

(3)その他の事業(全18件)

ア 実施した事業(全6件)

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|---|---------------------------------------|--|---|
| 1 | ウェブ版生きものミニサロン | ①8月9日配信開始 ②8月20日配信開始 ③9月3日配信開始 | ①155回 ②170回 ③151回 (視聴回数) (3月31日時点) | ①8月9日配信「家のまわりで真夏の夜の自然観察」 ②8月20日配信「ようこそ！小さな昆虫レストランへ」 ③9月3日配信「葉脈標本をつくってみよう！」 |
| 2 | 夏休みクイズラリー2021 | 7月31日(土)～ 8月15日(日) ※8月6日(金)以降中止 | 延べ798人 | 小学生以上を対象にしたクイズラリーを行った。 ○講師 市民学芸員 |
| 3 | 小惑星リュウグウサンプル公開 | 12月6日(月)～ 12月13日(月) | 3,523人 | 小惑星探査機「はやぶさ2」が開発・運用されている故郷・相模原(JAXA宇宙科学研究所)にて、地球に帰還したカプセル帰還1周年を記念し、小惑星リュウグウのサンプルを公開した。 ○主催 相模原市教育委員会(博物館)、 相模原市(観光・シティプロモーション課) ○協力 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、往復はがきや電子申請システムの抽選による当選者及び当日整理券配布による公開 |
| | 講演会「～リュウグウの石の声、聞こえますか？～」 | 12月12日(日) | 85人 | ○講師 JAXA 特任教授 橘 省吾 |
| 4 | 令和3年度研究機関等公開講座「JAXAコース」 小惑星探査機「はやぶさ2」その軌跡と挑戦 ※生涯学習センターと共催 | 2月1日(火) | 58人 | プラネタリウム全天周映画「HAYABUSA2～REBORN 帰還バージョン」を観覧後、小惑星探査機「はやぶさ2」の講演会を実施。 ○講演会 講師 吉川 真(JAXA宇宙科学研究所准教授)リモート出演 |
| 5 | 古民家でおひな様 春のおでかけスタンプラリー | 2月12日(土)～ 3月13日(日) | 延べ 222人 | 博物館、吉野宿ふじや、相模原市古民家園、小原宿本陣、田名民家資料館を対象としたスタンプラリーを実施した。 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|---|--------------------------------|----------|-----|---|
| 6 | 【宇宙学校・さがみはら】 「はやぶさ2」の先にあるもの | 3月26日(土) | 58人 | JAXA宇宙科学研究所の3名の研究者による講座後に質疑応答を実施。 ○宇宙学校長 藤本正樹(JAXA 宇宙科学研究所教授) ○講師 白井寛裕(JAXA 宇宙科学研究所教授) 鈴木志野(JAXA 宇宙科学研究所准教授) 亀田真吾(立教大学教授) |
|---|--------------------------------|----------|-----|---|

イ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・延期した事業(全12件)

| | 事業名 | 実施予定日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|-------------------------------|--|-----|--|
| 1 | 地質学講座「身近な石の中の鉱物～造岩鉱物の基礎」(全4回) | 6月5日(土) 6月19日(土) 7月3日(土) 7月17日(土) | | 身近に見られる岩石に含まれている鉱物についての基礎を学ぶことを予定。 ○講師 当館学芸員 |
| 2 | 子ども鉱物教室 「鉱物のふしぎ」(全2回) | 8月7日(土)・ 8月21日(土) | | ミョウバンの結晶づくりや鉱物のかたさ比べを通して、鉱物の基礎を学ぶことを予定。 ○講師 当館学芸員 |
| 3 | 夏休み親子天文教室 ～手作り天体望遠鏡～ | 8月15日(日) | | 望遠鏡の仕組みを学びながら口径4cmの屈折望遠鏡を親子で作り、製作した天体望遠鏡を使い、天体観測を予定。 ○講師 当館学芸員 |
| 4 | 考古学講座「お散歩考古学講座」 | 10月10日(日) 11月7日(日) | | 企画調整の段階で中止。 |
| 5 | 火山灰を顕微鏡で見てみよう | 10月24日(日) | | 日本各地の地層中の火山灰を顕微鏡で観察することを予定。 ○講師 当館学芸員 |
| 6 | 博物館まわりさんぽ(全2回) | 11月・3月 | | 淵野辺新田の象徴”新田稻荷神社”、宇宙の探しものにもご利益”呼ばわり山”、兵器学校の名残”細戈神社”などを案内、解説予定。 |
| 7 | クリスマスほしぞらコンサート | 12月25日(土) | | プラネタリウムを会場に美しい星空のもとクリスマスメドレーを主にした生演奏のクリスマスコンサートを予定。 |
| 8 | 繭うさぎをつくろう | 2月6日(日) | | 市民学芸員が指導し、繭を使った繭うさぎ作りの実施を予定。 ○講師 市民学芸員 |
| 9 | 市史講演会 | 2月 | | 相模原市史に関連する講演会を予定。 |

| | | | | |
|----|----------------|----------|--|--|
| 10 | 第5回宇宙フェスタさがみはら | 2月19日(土) | | ※宇宙フェスタさがみはら実行委員会と共催 |
| 11 | 博物館ガイドツアー | 2月27日(土) | | 企画調整の段階で中止。 |
| 12 | 砂を顕微鏡で見てみよう | 2月27日(日) | | 日本や世界各地の砂を顕微鏡で観察することを予定。 ○講師 当館学芸員 |

6 プラネタリウム・全天周映画

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月6日(金)～9月30日(木)は投影休止。

(1) 投影等開始時間

平日(火～金(特別上映期間を除く))

午後2時30分・午後4時

土・日・祝日及び特別上映期間

午前10時30分・午後1時・午後2時30分・午後4時

(2) 一般投影

テーマ解説

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)

イ 番組 星座～星空の歴史～

4月4日(日)まで

星空さんぽ

内容 解説員による季節の星空解説と各月入替えのミニテーマで構成(所要約40分)

春

4月「北斗七星」

5月「月食」

夏

6月「はやぶさ・はやぶさ2」

7月「七夕」

8月「木星・土星」

秋

10月1日～17日「お月見」

10月19日～11月7日「金星」

11月9日～30日「流れ星と流星群」

冬

12月「『はやぶさ2』カプセル帰還から1年」

1月(令和4年)「星の和名」

2月(令和4年)「道具を使って天体観望」

3月(令和4年)「火星衛星探査計画 MMX」

こどもプラネタリウム

ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)

イ 番組 ①リーベルタース天文台だより 春の星座の物語

4月1日(木)～5月30日(日)

②リーベルタース天文台だより 夏の星座の物語

6月5日(土)～8月29日(日)

③リーベルタース天文台だより 秋の星座の物語

9月4日(土)～11月28日(日)

- ④リーベルタース天文台だより 冬の星座の物語
12月4日(土)～令和4年2月27日(日)
- ⑤プラネタリウムで宇宙たんけん!(春)
令和4年3月5日(土)～

全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
- イ 番組 ①HAYABUSA2～REBORN
4月4日(日)まで
- ②Odyssey 果てしなく美しい宇宙
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
4月6日(火)～9月30日(木)
- ③ヤドカリくん、ほしをみに
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
4月10日(土)～9月26日(日)
- ④イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?!
(同時上映「まくまくんの星空大冒険」)
10月2日(土)～令和4年3月31日(木)
- ⑤HAYABUSA2～REBORN 帰還バージョン
10月1日(金)～令和4年3月31日(木)

(3)プラネタリウム特別投影

- ア 内容 クリスマスとバレンタインの時期に合わせ、当日の星空解説と全天周映画を上映
- イ 番組 ①クリスマス特別投影「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」
12月24日(金)～26日(日)
- ②バレンタイン特別投影「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」
令和4年2月11日(金)～13日(日)

(4)おためしタイム(無料)「プラネタリウム寄席 ほしぞら亭」

- ア 内容 土・日曜日・祝日の12時から「おためしタイム」として無料で約15分間の番組(落語「猫の皿」・「古事記」、できたくんの発泡スチロール工作芸を映像収録)を投影した。
- イ 実施日 3月27日(土)～5月5日(水・祝)の土曜・日曜・祝日
- ウ 参加者 延べ 300人(計16回投影)

(5)おためしタイム(無料)

- ア 内容 日曜日・祝日の12時から「おためしタイム」として無料で約10分間の番組を投影した。
※委託業者による提案事業
- イ 実施日 5月以降の日曜・祝日
- ウ 参加者 延べ 1,687人(計46回投影)

(6)学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
- イ 番組 小中学校向け「今晚の星空」
「空を見上げて(夏・冬)」
「宇宙への旅」
幼児向け 「今晚の星空」
「リーベルタース天文台だより」(春・夏・秋・冬)
「ピーターパンのぼうけん」
「ピーターパンとほしのくにへいこう!」
- ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前1回、午後1回投影
- エ 観覧者 延べ 5,022人

(7) 広報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し館内に掲示した。また、淵野辺駅に掲示する他、博物館ホームページや広報さがみはらに番組内容を掲載した。

7 情報サービスコーナー

令和2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閉鎖中。

8 広報・出版等

(1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展(特別展示)のポスター・パンフレット等
※ポスター一覧は50頁参照
- イ 相模原市立博物館イベントニュース
(4～5月号・6～7月号・7～8月号・特別版・10月号・11～12月号・1～2月号・3～4月号)
- ウ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- エ 研究報告第30集
- オ 『川坂遺跡第3次調査』

(2) 有償刊行物一覧(令和4年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 439,790 円

① 博物館

図録・報告書等売上

合計 355冊 70,100 円

ア 特別展・企画展図録等

| 書名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|-----------------------------|--------|-----------|------|
| 郷土の巨匠・岩橋英遠展 | ¥1,000 | H 7 . 11 | 完売 |
| 江南の至宝 | ¥1,300 | H 8 . 2 | 完売 |
| 相模原の昆虫－身近にいる小さな仲間たち－ | ¥350 | H 8 . 4 | 完売 |
| 日本の宇宙開発 | ¥1,000 | H 8 . 11 | 完売 |
| 絵図から地形図へ－近代地形図の誕生と発展－ | ¥2,550 | H 9 . 7 | 完売 |
| 太陽系－母なる太陽とその家族を巡る－ | ¥700 | H 9 . 11 | 完売 |
| 浮世絵名品展 | ¥1,800 | H 10 . 9 | 完売 |
| 水生昆虫の世界－水の中の小さな虫たち－ | ¥1,200 | H 11 . 7 | 完売 |
| 描かれた農耕の世界 | ¥1,500 | H 11 . 10 | 完売 |
| 花を描き、花を知る－植物画の魅力－ | ¥1,200 | H 12 . 7 | 完売 |
| 幕末・維新の相模原－村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち－ | ¥1,500 | H 12 . 10 | 完売 |
| 星の測量－角度をはかり、位置をもとめる－ | ¥700 | H 13 . 7 | 9 |
| “道”再発見－道の役割とその移りかわり－ | ¥1,500 | H 13 . 10 | 完売 |
| 昆虫のふしぎ | ¥500 | H 14 . 7 | 5 |
| 水晶ってすばらしい！－その美と実用の魅力－ | ¥1,000 | H 15 . 7 | 0 |
| 晃嶺の百花譜 | ¥1,500 | H 16 . 7 | 2 |
| 相模原－その開発と変貌－ | ¥800 | H 16 . 10 | 14 |
| 地球46億年 | ¥900 | H 17 . 7 | 0 |
| 相模川・桂川流域の縄文時代 | ¥950 | H 18 . 10 | 完売 |
| 合計 | | ¥23,000 | 30 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

イ 報告書等

| 書 名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|----------------------------------|--------|----------|------|
| 研究報告第7集 1999 | ¥850 | H 10 . 3 | 完売 |
| 研究報告第8集 2000 | ¥850 | H 11 . 3 | 完売 |
| 研究報告第9集 2001 | ¥900 | H 12 . 3 | 完売 |
| 研究報告第10集 2002 | ¥900 | H 13 . 3 | 完売 |
| 研究報告第11集 2002 | ¥850 | H 14 . 3 | 完売 |
| 研究報告第12集 2003 | ¥900 | H 15 . 3 | 0 |
| 研究報告第13集 2004 | ¥900 | H 16 . 3 | 0 |
| 研究報告第14集 2005 | ¥900 | H 17 . 3 | 0 |
| 研究報告第15集 2006 | ¥1,050 | H 18 . 3 | 0 |
| 研究報告第16集 2007 | ¥1,150 | H 19 . 3 | 0 |
| 研究報告第17集 2008 | ¥1,150 | H 20 . 3 | 0 |
| 研究報告第18集 2009 | ¥700 | H 21 . 3 | 2 |
| 研究報告第19集 2010 | 配布のみ | H 22 . 3 | - |
| 研究報告第20集 2012 | 配布のみ | H 24 . 3 | - |
| 研究報告第21集 2013 | 配布のみ | H 25 . 3 | - |
| 研究報告第22集 2014 | 配布のみ | H 26 . 3 | - |
| 研究報告第23集 2015 | 配布のみ | H 27 . 3 | - |
| 研究報告第24集 2016 | 配布のみ | H 28 . 3 | - |
| 研究報告第25集 2017 | 配布のみ | H 29 . 3 | - |
| 研究報告第26集 2018 | 配布のみ | H 30 . 3 | - |
| 相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化 | ¥900 | H 10 . 3 | 完売 |
| 地図資料目録Ⅱ 一般図・主大図・地形図 | ¥1,200 | H 12 . 3 | 完売 |
| 桐生亮コレクション標本目録 | ¥1,150 | H 13 . 3 | 完売 |
| 相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗 | ¥600 | H 14 . 3 | 0 |
| 資料目録4 テフラ標本目録 | ¥850 | H 15 . 3 | 0 |
| 資料目録5 相模原植物誌Ⅰ | ¥600 | H 15 . 3 | 0 |
| 古淵B遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書 | ¥850 | H 17 . 3 | 0 |
| 博物館所蔵古文書目録 | ¥900 | H 17 . 3 | 0 |
| 境川流域民俗調査報告書 | ¥500 | H 17 . 3 | 完売 |
| 博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫 | ¥1,700 | H 20 . 3 | 3 |
| さがみはら自然ガイド カエル見つけた!! | ¥180 | H 21 . 5 | 19 |
| 大日野原遺跡資料調査報告書 | ¥720 | H 31 . 3 | 2 |
| 津久井城跡資料調査報告書 | ¥1,820 | R 2 . 3 | 5 |
| 合 計 | | ¥20,460 | 31 |

ウ 展示解説書

| 書 名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|---------|--------|----------|------|
| 常設展示解説書 | ¥1,000 | H 8 . 11 | 完売 |

エ 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード

| 絵 葉 書 名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|----------------------------|------|----------|------|
| ポストカード(相模原市立博物館) | ¥30 | R 2 . 11 | 14 |
| ポストカード(相模原市緑区青野原上空からみた道志川) | ¥30 | R 2 . 11 | 15 |
| ポストカード(相刃津久井城図 但古城) | ¥30 | R 2 . 11 | 14 |
| ポストカード(毛羽取機) | ¥30 | R 2 . 11 | 6 |
| ポストカード(エナガの巣立ちビナ) | ¥30 | R 2 . 11 | 28 |
| ポストカード(勝坂式土器) | ¥30 | R 2 . 11 | 46 |
| ポストカード(相模原市立博物館プラネタリウム) | ¥30 | R 2 . 11 | 72 |
| ポストカード(7枚セット) | ¥210 | R 2 . 11 | 99 |
| 合 計 | | ¥26,640 | 294 |

| | | |
|-----|---------|-----|
| 合 計 | ¥70,100 | 355 |
|-----|---------|-----|

令和3年度 相模原市立博物館 年報

②市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 162冊 369,690 円

ア 相模原市史

| 書名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|---|--------|-----------|------|
| 相模原市史 第1巻 (中世以前通史) | ¥2,300 | S 39 . 11 | 2 |
| 相模原市史 第2巻 (近世通史) | ¥3,400 | S 42 . 3 | 1 |
| 相模原市史 第3巻 (近代通史) | ¥2,800 | S 44 . 2 | 0 |
| 相模原市史 第4巻 (現代通史) | ¥3,200 | S 46 . 3 | 2 |
| 相模原市史 第5巻 (中世・近世資料集) | ¥4,500 | S 40 . 11 | 1 |
| 相模原市史 第6巻 (近代資料集) | ¥3,200 | S 43 . 2 | 0 |
| 相模原市史 第7巻 (別編) | ¥1,900 | S 47 . 3 | 0 |
| 相模原市史 現代図録編 | ¥1,500 | H 16 . 11 | 17 |
| 相模原市史 現代資料編 | ¥3,700 | H 20 . 3 | 3 |
| 相模原市史 自然編 | ¥3,400 | H 21 . 5 | 7 |
| 相模原市史 民俗編 | ¥2,550 | H 22 . 3 | 11 |
| 相模原市史 民俗編DVD版 | ¥1,550 | H 22 . 3 | 0 |
| 相模原市史 現代通史編 | ¥2,100 | H 23 . 3 | 9 |
| 相模原市史 考古編 | ¥2,650 | H 24 . 3 | 16 |
| 相模原市史 現代テーマ編 | ¥2,310 | H 26 . 3 | 16 |
| 相模原市史 文化遺産編 | ¥3,060 | H 27 . 3 | 5 |
| 相模原市史 近代資料編 | ¥3,240 | H 29 . 5 | 2 |
| 相模原市史 別編 | ¥1,690 | H 30 . 2 | 0 |
| 相模原市史 別編CD版 | ¥920 | H 30 . 2 | 0 |
| 相模原市史ノート創刊号 | ¥350 | H 16 . 3 | 1 |
| 相模原市史ノート第2号 | ¥700 | H 17 . 3 | 1 |
| 相模原市史ノート第3号 | ¥600 | H 18 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第4号 | ¥600 | H 19 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第5号 | ¥600 | H 20 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第6号 | ¥700 | H 21 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第7号 | ¥700 | H 22 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第8号 | ¥650 | H 23 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第9号 | ¥700 | H 24 . 3 | 1 |
| 相模原市史ノート第10号 | ¥700 | H 25 . 3 | 2 |
| 相模原市史ノート第11号 | ¥700 | H 26 . 3 | 3 |
| 相模原市史ノート第12号 | ¥700 | H 27 . 3 | 3 |
| 相模原市史ノート第13号 | ¥700 | H 28 . 3 | 0 |
| 相模原市史ノート第14号 | ¥720 | H 29 . 3 | 3 |
| 相模原市史ノート第15号 | ¥760 | H 30 . 3 | 3 |
| 相模原市史調査報告書1 旧石器時代遺跡資料調査報告書 | ¥1,400 | H 19 . 3 | 0 |
| 相模原市史調査報告書2 動植物調査目録 | ¥2,400 | H 21 . 3 | 0 |
| 相模原市史調査報告書3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化史 | ¥1,500 | H 21 . 3 | 1 |
| 相模原市史調査報告書4 相模原地域の第4紀地史研究のための指標テフラ(火山灰) | ¥2,300 | H 21 . 3 | 1 |
| 相模原市史調査報告書5 縄文時代遺跡資料調査報告書 | ¥1,000 | H 21 . 3 | 2 |
| 相模原市史調査報告書6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書 | ¥1,350 | H 22 . 3 | 4 |
| 相模原市史調査報告書7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書 | ¥1,200 | H 23 . 3 | 4 |
| 合計 | | ¥255,180 | 121 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

イ 城山町史

| 書名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|-------------------------|--------|-----------|------|
| 城山町史1 資料編 考古・古代・中世 | ¥7,000 | H 4 . 3 | 2 |
| 城山町史2 資料編 近世 | ¥6,000 | H 2 . 3 | 1 |
| 城山町史3 資料編 近現代 | ¥7,000 | H 5 . 3 | 0 |
| 城山町史4 資料編 民俗 | ¥5,150 | S 63 . 3 | 0 |
| 城山町史5 通史編 原始・古代・中世 | ¥3,500 | H 7 . 3 | 2 |
| 城山町史6 通史編 近世 | ¥3,500 | H 9 . 3 | 1 |
| 城山町史7 通史編 近現代 | ¥3,500 | H 9 . 3 | 0 |
| 城山風土記1 近現代編 | ¥600 | H 3 . 3 | 0 |
| 城山風土記2 近世文書を読むために | ¥700 | H 6 . 3 | 0 |
| 城山風土記3 九十歳の雑記帳 | ¥600 | H 7 . 3 | 1 |
| 城山風土記4 歴史・民俗編 | ¥600 | H 8 . 8 | 1 |
| 城山風土記5 町の歩みをふりかえる | ¥600 | H 9 . 3 | 1 |
| 城山町史資料所在目録 近世文書 | ¥3,600 | S 60 . 3 | 0 |
| 城山町史資料所在目録 近現代文書・近世文書補遺 | ¥2,900 | S 61 . 12 | 0 |
| 城山町史新聞記事目録 | ¥1,200 | S 62 . 3 | 0 |
| 町史の窓(復刻版) | ¥1,100 | H 18 . 3 | 1 |
| 合計 | | ¥33,400 | 10 |

ウ 津久井町史

| 書名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|--------------------------|--------|----------|------|
| 津久井町史 資料編 近世1 | ¥2,000 | H 16 . 3 | 1 |
| 津久井町史 資料編 考古・古代・中世 | ¥2,900 | H 19 . 3 | 0 |
| 津久井町史 資料編 近代・現代 | ¥3,150 | H 21 . 2 | 0 |
| 津久井町史 資料編 近世2 | ¥3,550 | H 23 . 3 | 3 |
| 津久井町史 自然編 | ¥3,690 | H 25 . 3 | 2 |
| 津久井町史 通史編 近世・近代・現代 | ¥2,720 | H 26 . 3 | 1 |
| 津久井町史 通史編 原始・古代・中世 | ¥2,620 | H 28 . 3 | 3 |
| 津久井町史 文化遺産編 | ¥4,060 | H 30 . 3 | 2 |
| ふるさと津久井 第1号 | ¥1,000 | H 12 . 3 | 完売 |
| ふるさと津久井 第2号 特集 山に生きる | ¥1,000 | H 13 . 3 | 完売 |
| ふるさと津久井 第3号 (特別号)津久井の古地図 | ¥1,000 | H 14 . 3 | 完売 |
| ふるさと津久井 第4号 特集 養蚕と織物(1) | ¥1,000 | H 15 . 9 | 完売 |
| ふるさと津久井 第5号 特集 養蚕と織物(2) | ¥750 | H 24 . 3 | 3 |
| ふるさと津久井 第6号 | ¥820 | H 26 . 3 | 1 |
| ふるさと津久井 第7号 | ¥790 | H 29 . 3 | 1 |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅰ」 | ¥1,700 | H 16 . 3 | 0 |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅱ」 | ¥1,500 | H 20 . 3 | 0 |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 | 配布のみ | H 24 . 3 | - |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の昆虫Ⅲ」 CD版 | 配布のみ | H 24 . 3 | - |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 | 配布のみ | H 24 . 3 | - |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の植物」 CD版 | 配布のみ | H 24 . 3 | - |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の動物」 | ¥720 | H 25 . 2 | 1 |
| 津久井町史調査報告書「津久井町の気象」 | ¥1,840 | H 25 . 2 | 0 |
| 津久井町史資料目録 公文書1 | ¥2,300 | H 22 . 3 | 0 |
| 津久井町史資料目録 公文書2 | ¥1,700 | H 24 . 3 | 0 |
| 津久井町史資料叢書 事務報告1 | ¥1,850 | H 22 . 3 | 0 |
| 津久井町史資料叢書 事務報告2 | ¥1,850 | H 22 . 3 | 0 |
| 合計 | | ¥43,310 | 18 |

エ 相模湖町史

| 書名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|-----------|---------|----------|------|
| 相模湖町史 歴史編 | ¥14,000 | H 13 . 3 | 1 |
| 相模湖町史 民俗編 | ¥5,600 | H 19 . 2 | 1 |
| 相模湖町史 自然編 | ¥11,550 | H 20 . 2 | 0 |
| 合計 | | ¥19,600 | 2 |

オ 藤野町史

| 書名 | 販売価格 | 発行年月 | 売上冊数 |
|----------------|--------|---------|------|
| 藤野町史 資料編上 | ¥3,000 | H 6 . 3 | 1 |
| 藤野町史 資料編下 | ¥3,000 | H 6 . 3 | 1 |
| 藤野町史 通史編 | ¥4,000 | H 7 . 3 | 2 |
| ふじの町史 研究誌(第1号) | ¥600 | H 2 . 3 | 0 |
| ふじの町史 研究誌(第2号) | | H 4 . 2 | 完売 |
| ふじの町史 研究誌(第3号) | ¥600 | H 5 . 3 | 3 |
| ふじの町史 研究誌(第4号) | | H 6 . 2 | 完売 |
| ふじの町史 研究誌(第5号) | ¥600 | H 8 . 3 | 4 |
| 合計 | | ¥18,200 | 11 |

(3) 広報活動

ア ポスター・チラシ掲示

前述の各ポスター・チラシを市各機関・近隣博物館・相模大野パブリックインフォメーション所管課等へ送付し、掲示・配架を依頼するとともに、淵野辺駅等に掲示した。

イ 記事提供

広報さがみはらや相模原記者クラブなどの新聞・雑誌・タウン紙等のメディアへイベント情報を提供した。また、タウン紙「タウンニュース」中央区版のシリーズ「博物館の資料から相模原を学ぶ」に毎月、学芸員が資料紹介の寄稿を行った。

ウ 放送番組

NHK、J:COM、FM HOT 839など、博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。また、FM HOT 839レギュラー枠「博物館探検隊」に出演した。

エ 博物館資料の博物館外での常設展示

考古資料を史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館、史跡勝坂遺跡公園管理棟、国立歴史民俗博物館に年間を通じて貸出して展示に協力した。

オ 博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどによる発信

各種事業のPRや周知を博物館ホームページ、職員ブログ、ツイッターなどにより広く発信した。

9 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のために実習として、8月3日(火)～9月23日(木)の内、実質9日間に17大学から延べ21人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

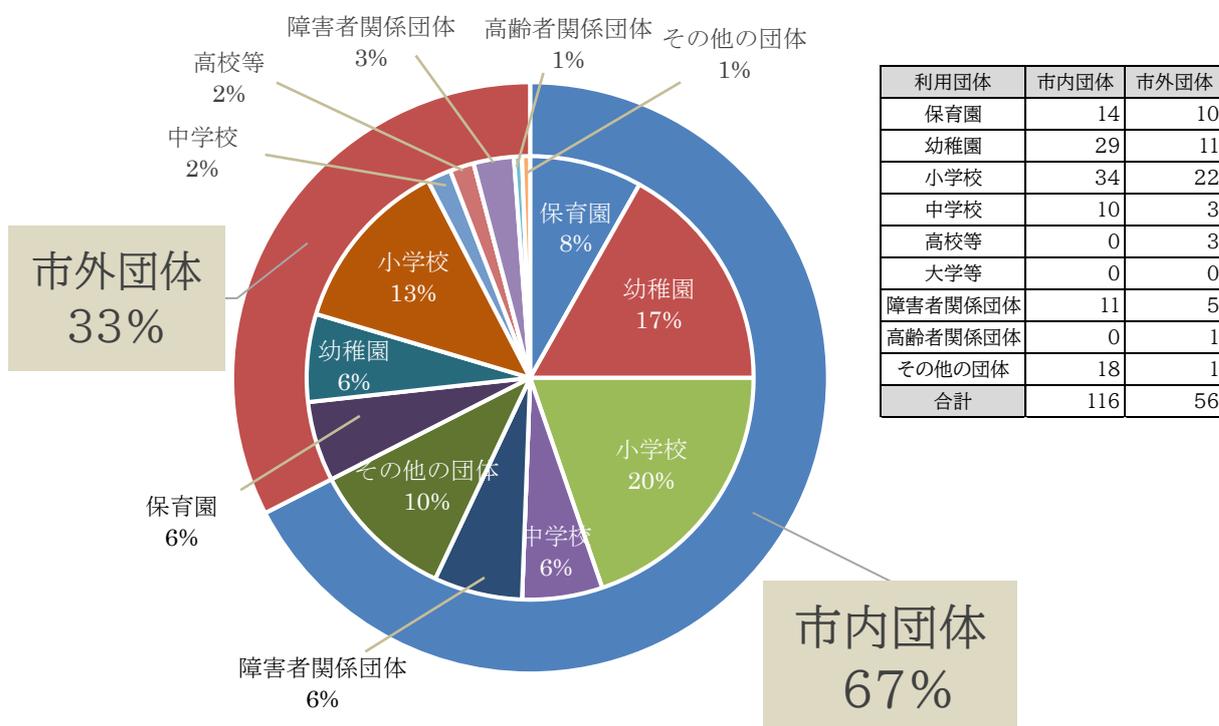
| 分野 | 大学 | 人数 | 分野 | 大学 | 人数 |
|----|---------|----|----|-------|----|
| 考古 | 明星大 | 1 | 生物 | 東京都市大 | 1 |
| | 東海大 | 1 | | 東京農業大 | 1 |
| | お茶の水女子大 | 1 | | 東京都立大 | 1 |
| | 桜美林大 | 1 | 地質 | 東京農業大 | 1 |
| 歴史 | 国土館大 | 1 | | 日本大 | 1 |
| | 駒澤大 | 1 | | 東京都立大 | 1 |
| | 青山学院大 | 1 | | 桜美林大 | 1 |
| | 立正大 | 1 | 天文 | 工学院大 | 1 |
| 民俗 | 成城大 | 1 | | 東京造形大 | 1 |
| | 日本女子大 | 1 | | 桜美林大 | 1 |
| | 東京学芸大 | 1 | | | |

10 団体利用

学校及びそれに類する団体の利用(プラネタリウム学習投影、展示学習)について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

| 月 | 件数 | 人数 | 月 | 件数 | 人数 | 月 | 件数 | 人数 |
|----|----|-------|-----|----|-------|-----|-----|-------|
| 4月 | 2 | 165 | 8月 | 3 | 48 | 12月 | 22 | 1,066 |
| 5月 | 8 | 420 | 9月 | 0 | 0 | 1月 | 9 | 412 |
| 6月 | 22 | 1,243 | 10月 | 32 | 1,409 | 2月 | 14 | 818 |
| 7月 | 19 | 761 | 11月 | 31 | 2,006 | 3月 | 10 | 406 |
| | | | | | | 年計 | 172 | 8,754 |

団体利用内訳



11 博物館資料貸出しキットの貸出しによる学習利用

市内小中学校からの依頼により、学校教材用に博物館資料の貸出しを行った。

(主な貸出しキット)

- ・糸車
- ・炭火アイロン
- ・電気アイロン
- ・縄文体験キット
- ・昭和ってすごい時代体感キット
- ・箱膳セット
- ・火のし
- ・火鉢セット

| 学年 | 件数 |
|-------|----|
| 小学校1年 | 2 |
| 小学校2年 | 0 |
| 小学校3年 | 6 |
| 小学校4年 | 0 |
| 小学校5年 | 0 |
| 小学校6年 | 5 |
| 中学校1年 | 0 |
| 中学校2年 | 0 |
| 中学校3年 | 0 |
| 合計 | 13 |

12 相模原ふるさといろはかるたの制作・貸出し

博物館ボランティアの「市民学芸員」が7年かけて企画・検討を重ね、手作りで平成29年度に完成した「いろはかるた」。市内緑区から南区まで47ヶ所の名所・旧跡などを紹介したもので、絵札、読み札の他、解説文(日本語、英語)、紹介地マップもついている。

また、貸出し分(10組、期間は原則1ヶ月以内)も制作し、博物館内の掲示やホームページ、職員ブログでPRを行ったほか、博物館の学習資料展で紹介した。

令和3年度は、学校などの団体利用により柔軟に対応できるように、20組を新たに制作した。

(1)制作

相模原市立博物館ボランティア「市民学芸員」

(2)貸出し件数

学校、公民館など 15 件 103 組

13 ネットで楽しむ博物館

動画配信サイト「YouTube」の「相模原市立博物館公式チャンネル」を用いて、博物館ホームページの「ネットで楽しむ博物館」で動画配信を行った。

| | タイトル | 視聴回数※ |
|----|---|-------|
| 1 | 考古企画展「変化の時代を生きた縄文人」展示解説 | 439 回 |
| 2 | 「川尻石器時代遺跡史跡指定 90 周年記念ミニ展示」紹介動画 | 194 回 |
| 3 | 考古企画展「古代相模原台地の開発」紹介解説 | 96 回 |
| 4 | 相模原にオリンピックがくる展示解説 《東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた関連企画展》 | 237 回 |
| 5 | 相模原町誕生 80 周年企画展「軍都さがみはら展～国内最大の町誕生秘話物語～」解説動画 前編 | 934 回 |
| 6 | 相模原町誕生 80 周年企画展「軍都さがみはら展～国内最大の町誕生秘話物語～」解説動画 後編 | |
| 7 | JAXA 連携企画展 関連事業 「世界中で月を見上げて過ごす夜」 | 193 回 |
| 8 | 生きものミニサロンウェブ版「家のまわりで真夏の夜の自然観察」 | 147 回 |
| 9 | 生きものミニサロンウェブ版「ようこそ！小さな昆虫レストランへ」 | 161 回 |
| 10 | 生きものミニサロンウェブ版「葉脈標本をつくってみよう！」 | 145 回 |
| 11 | 星空さんぽ 2021 年 8 月ミニテーマ「木星と土星」 | 313 回 |
| 12 | 星空さんぽ 2021 年 9 月ミニテーマ「お月見」 | 331 回 |
| 13 | JAXA 連携企画展 「相模原と月」展示解説 その 1 | 899 回 |
| 14 | JAXA 連携企画展 「相模原と月」展示解説 その 2 | |
| 15 | JAXA 連携企画展 「相模原と月」展示解説 その 3 | |
| 16 | 2022 年 1 月「星空情報」 | 90 回 |
| 17 | 2022 年 2 月「星空情報」 | 105 回 |
| 18 | 2022 年春 「星空情報」 | 14 回 |

※3月31日までの延べ視聴回数。

14 インターンシップ

例年相模原市役所職員研修所の依頼により受け入れていたインターンシップは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

15 博物館職員の講師依頼等

市内公民館、小・中学校、高校、他自治体等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した(これに類するものも記載)。

依頼件数 計 68 件(うち 8 件はオンライン)

聴講者 延べ 2,040 人

| | 演題等 | 依頼者 | 分野 | 月日 | 場所 | 担当 |
|----|----------------------------|------------------|----|---------------|------------------|-----------|
| 1 | 新採用職員研修「相模原の歴史」 | 市職員研修所 | 民俗 | 4月6日 9日 | けやき会館 | 山本菜摘 |
| 2 | 令和3年度第1回環境学習セミナー全体テーマ調査説明会 | 環境情報センター | 生物 | 4月10日 | 相模原市立環境情報センター学習室 | 秋山幸也 |
| 3 | 野鳥の生態 | 青山学院大学 | 生物 | 4月24日 | 本館大会議室 | 秋山幸也 |
| 4 | 相模原市文化財調査普及員考古班研修会 | 相模原市文化財調査普及員 | 考古 | 6月10日 7月8日 | 本館実習実験室 | 河本雅人・長澤有史 |
| 5 | 宮ヶ瀬湖自然観察動画の収録 | 公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団 | 生物 | 4月下旬～ 5月中旬 | 宮ヶ瀬湖周辺 | 秋山幸也 |
| 6 | ホテル観察会講師 | 県立上溝南高等学校 | 生物 | 5月28日 | 田名望地水田地帯 | 秋山幸也 |
| 7 | ホテル観察会事後学習講師 | 県立上溝南高等学校 | 生物 | 6月3日 | 上溝南高校生物準備室 | 秋山幸也 |
| 8 | カイコのはなし | 清新小学校4年生 | 生物 | 6月24日 | 清新小学校 | 秋山幸也 |
| 9 | 相模原の歴史(軍都としての) | 内出中学校 | 歴史 | 5月26日 | 内出中学校 | 木村弘樹 |
| 10 | 博物館実習(青山学院大学) | 青山学院大学 | 生物 | 5月15日 | 本館大会議室 | 秋山幸也 |
| 11 | カイコのはなし | くぬぎ台小4年 | 生物 | 5月20日 | くぬぎ台小視聴覚室 | 秋山幸也 |
| 12 | 相模原の史跡(勝坂遺跡について) | 内出中学校3年 | 考古 | 6月1日 | 内出中学校 | 河本雅人 |
| 13 | カイコのはなし | 清新小4年 | 生物 | 6月2日 | 清新小体育館 | 秋山幸也 |
| 14 | 相模原の産業(養蚕について) | 内出中学校3年 | 生物 | 6月4日 | 内出中学校 | 秋山幸也 |
| 15 | カイコのはなし | 大沢小3年 | 生物 | 6月8日 | 大沢小体育館 | 秋山幸也 |
| 16 | カイコのはなし | 大島小3年 | 生物 | 6月8日 | 大島小体育館 | 秋山幸也 |
| 17 | カイコのはなし | 緑台小4年 | 生物 | 6月11日 | 緑台小体育館 | 秋山幸也 |
| 18 | カイコのはなし | 新宿小4年 | 生物 | 6月16日 | 新宿小体育館 | 秋山幸也 |
| 19 | 地質巡検 | シュタイナー学園 初等部 6年生 | 地質 | 6月17日 | シュタイナー学園名倉校舎周辺 | 河尻清和 |
| 20 | 体験活動(岩石採集) | 相模川自然の村野外体験教室 | 地質 | 6月22日 23日 | 相模川自然の村野外体験教室 | 河尻清和 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | | | |
|----|--|------------------------------|----|--------------|--|---------------|
| 21 | フィールドワーク研修(東京藝大) | 東京藝大美術学部油画科 | 生物 | 6月23日 24日 | 東京藝術大学 上野校地 | 秋山幸也 |
| 22 | 新磯公民館成人学級(新磯の社寺と文化財) | 新磯公民館長 | 歴史 | 7月10日 | 新磯公民館 | 加藤隆志 |
| 23 | 「相模原10万年の大地の物語～相模野台地～」 | 光が丘公民館長 | 地質 | 7月17日 | 光が丘公民館 | 河尻清和 |
| 24 | 自然観察教室 | ボーイスカウト 相模原第7団 ビーバー隊 | 生物 | 7月25日 | 博物館内 | 秋山幸也 |
| 25 | 「地域で学ぶ社会のしくみ」 (オンライン授業) | 相模女子大学 | 歴史 | 7月26日 | 相模女子大学 | 木村弘樹 |
| 26 | はく製を使った野鳥勉強会 | 東林野鳥の会 | 生物 | 7月30日 | 博物館実習実験室 | 秋山幸也 |
| 27 | セミの羽化観察会 | 大野南公民館 | 生物 | 8月7日 | 麻溝公園 | 秋山幸也 |
| 28 | 前期集中講座「地学実験」 | 東京電機大学 | 地質 | 8月26日 | 東京電機大学 東京千住キャンパス | 河尻清和 |
| 29 | 「ビオトープ大作戦!!」 | 星ヶ丘小学校 | 生物 | 9月17日 | オンライン | 秋山幸也 |
| 30 | 北条氏・武田氏の外交戦略 ～戦国バトル&駆け引き～ | 陽光台公民館 | 歴史 | 9月23日 | 博物館での撮影 動画をオンライン 配信 | 木村弘樹 |
| 31 | さがみはら地域づくり大学 基礎コース「相模原を知る ～地域活動への第一歩～」 第6コマ「相模原の歴史を 知ろう」 | 公財)相模原・ 町田大学地域 コンソーシアム | 歴史 | 9月25日 | 相模大野ユニコム プラザさがみ はらミーティング ルーム4 | 木村弘樹 |
| 32 | 体験活動(岩石採集)(職員 研修) | 相模川自然の 村野外体験教室 | 地質 | 9月30日 | 相模川自然の村 野外体験教室 | 河尻清和 |
| 33 | 新採用職員研修「相模原の 歴史」(10月採用) | 相模原市職員 研修室 | 歴史 | 10月4日 | けやき会館 | 長澤有史 |
| 34 | 高齢者学級(常設展示の見 どころ) | 大野台公民館 | 全般 | 10月13日 | 大野台公民館 | 加藤隆志 |
| 35 | ふれあいゼミナール | 由野台中学校 | 考古 | 10月23日 | 由野台中学校 | 長澤有史 |
| 36 | 川原石のふしぎ | 文化財保護課 | 地質 | 10月23日 | 旧石器ハテナ館 および相模川川 原 | 河尻清和 |
| 37 | たまご街道の歴史を知ろう | 市民講座 ま なびのライブ 塾 | 民俗 | 10月28日 | 相模大野ユニコム プラザさがみ はらミーティング ルーム4 | 加藤隆志 |
| 38 | 軍都相模原 | 大野南公民館 | 歴史 | 10月28日 | 大野南公民館 | 木村弘樹 |
| 39 | 野外動物学野外実習 | 麻布大学野生 動物学研究室 | 生物 | 11月6日 | 博物館周辺 | 秋山幸也 |
| 40 | 秋のさわやかウォーク | 大野南公民館 | 地質 | 11月13日 | 鵜野森橋～古 淵鵜野森公園 | 河尻清和 |
| 41 | 博物館内見学(展示室・収 蔵庫・観測室) | 上溝中学校 | 全般 | 11月18日 | 博物館内 | 木村弘樹・ 里見聡一 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | | | |
|----|------------------------------------|---------------------|----|--------|--------------------|------|
| 42 | 「田名向原遺跡周辺文化財探訪～田名塩田・当麻地区を巡る～」 | 文化財保護課 | 考古 | 11月19日 | 旧石器ハテナ館、田名塩田、当麻地区 | 河本雅人 |
| 43 | 令和3年度・第55回 全国野生生物保護活動発表大会 受賞式・発表大会 | 公益財団法人日本鳥類保護連盟 代表理事 | 生物 | 11月24日 | 中央合同庁舎5号館 環境省第一会議室 | 秋山幸也 |
| 44 | 箱根地域自然に親しむ運動 箱根の冬鳥観察会 | 神奈川県公園協会 | 生物 | 11月26日 | 箱根ビジターセンター周辺 | 秋山幸也 |
| 45 | 博物館内見学(バックヤード含む) | 桜美林大学 | 全般 | 11月27日 | 博物館内 | 山本菜摘 |
| 46 | 軍都さがみはら～陸軍施設の紹介と”国内最大の町”誕生 | 上鶴間公民館 | 歴史 | 12月9日 | 上鶴間公民館 | 木村弘樹 |
| 47 | 植物標本レスキューによって得たもの 東日本大震災と熊本豪雨の事例から | 神奈川県博物館協会 | 生物 | 12月9日 | 県立歴史博物館 | 秋山幸也 |
| 48 | 田名地区の遺跡を知ろう～石器時代が百倍楽しくなる～ | 田名公民館 | 考古 | 12月10日 | 旧石器ハテナ館 | 河本雅人 |
| 49 | 北条・武田攻防の城”津久井城” | 大野中公民館 | 歴史 | 12月18日 | 大野中公民館 | 木村弘樹 |
| 50 | 自然環境観察員野鳥部会 野鳥観察会 | 環境情報センター | 生物 | 12月26日 | 境川(町田～古淵) | 秋山幸也 |
| 51 | 自然環境観察員全体テーマ調査結果検討会 | 環境情報センター | 生物 | 12月26日 | 環境情報センター | 秋山幸也 |
| 52 | 勝坂を学ぼう! 「縄文の森の野鳥観察会」 | 文化財保護課 | 生物 | 1月9日 | 史跡勝坂遺跡公園周辺および管理棟 | 秋山幸也 |
| 53 | 井伊・本多ら徳川精鋭が来攻した”津久井城の終焉” | 大野中公民館 | 歴史 | 1月15日 | 大野中公民館 | 木村弘樹 |
| 54 | 文化財保護行政と縄文時代の遺跡 | 昭和女子大学 | 考古 | 2月3日 | オンライン | 領家玲美 |
| 55 | 相模台公民館成人学級 地域を知る2 軍都相模原(公開講座) | 相模台公民館成人学級準備委員会委員長 | 歴史 | 2月6日 | 相模台公民館 大会議室 | 木村弘樹 |
| 56 | さがみはら生物多様性ネットワーク事業 | 水みどり環境課 計画班 | 生物 | 2月9日 | 職員会館地下1階 音響室1 | 秋山幸也 |
| 57 | 津久井城市民調査グループ講習 津久井城主内藤氏 | 津久井城市民調査グループ | 歴史 | 2月16日 | 県立津久井湖城山公園 | 木村弘樹 |
| 58 | 相模野台地の地形と地質～火山が作った相模原～ | 大野中公民館 | 地質 | 2月19日 | 大野中公民館 | 河尻清和 |
| 59 | 自然環境観察員野鳥部会 野鳥観察会 | 環境情報センター | 生物 | 2月11日 | 県立相模原公園 | 秋山幸也 |
| 60 | 博物館講演会(学芸ボランティア) | 小田原市教育委員会 | 民俗 | 2月12日 | 小田原市生涯学習センター | 加藤隆志 |
| 61 | 軍都相模原とのつながり | 小山公民館 | 歴史 | 2月20日 | 小山公民館 | 木村弘樹 |
| 62 | ふるさと勉強会(相模原市の縄文時代中期について) | ピースロード相模原 | 考古 | 2月20日 | 上鶴間公民館 | 長澤有史 |

| | | | | | | |
|----|------------------------|------------|----|-------|------------------|------|
| 63 | 宇宙(そら)に飛び出せ！中央区こどもカレッジ | 中央区役所地域振興課 | 天文 | 2月20日 | オンライン | 里見聡一 |
| 64 | 相模原市自然環境観察員制度 企画会議 | 環境情報センター | 生物 | 2月25日 | 環境情報センター | 秋山幸也 |
| 65 | 軍都さがみはらに関する講話 | 大野南中学校 | 歴史 | 3月2日 | 大野南中学校 | 木村弘樹 |
| 66 | 勝坂を学ぼう！「縄文の森の地形観察会」 | 文化財保護課 | 地質 | 3月13日 | 史跡勝坂遺跡公園周辺および管理棟 | 河尻清和 |
| 67 | 大野中地区の旧道～大山道と相模原～ | 大野中公民館 | 民俗 | 3月19日 | 大野中公民館 | 加藤隆志 |
| 68 | てくてくガイド勉強会&情報交換会 | 上鶴間公民館 | 民俗 | 3月24日 | 上鶴間公民館 | 加藤隆志 |

16 JAXAとの協働・相模原キャンパス宇宙科学探査交流棟「博物館紹介コーナー」

JAXA相模原キャンパス内の宇宙科学探査交流棟内に博物館紹介コーナーを設置し、出張展示等を行っている。また、交流棟と博物館をまたぐスタンプラリーを行っていたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

| | 分野 | 展示内容 |
|----|----|---|
| 前期 | 生物 | 博物館及び宇宙科学研究所周辺にある「雑木林」をテーマとした昆虫標本・鳥類はく製 |
| 後期 | 地質 | 相模川の川原で見られる特徴的な岩石 |

17 市民との協働

| | 名称 | 登録者 | 参加者 | 内容 |
|---|----------|-----|------------------------------------|---|
| 1 | 市民学芸員 | 53人 | 延べ485人 | 学習資料展の企画・準備等を実施した。また、有志により市民学芸員かわら版作成などを行った。 |
| 2 | 相模原植物調査会 | 60人 | 延べ50人 | 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、博物館実習生の標本取扱い等の指導を行った。その他、令和2年7月豪雨で被災した人吉城歴史館の植物標本のレスキュー作業を行った。 |
| 3 | 相模原地質研究会 | 14人 | 延べ96人 | 博物館周辺の地形調査を行った。企画展の準備作業を行った。 |
| 4 | 相模原縄文研究会 | 12人 | 延べ76人 | 寄贈された考古資料の整理を行った。 |
| 5 | 民俗調査会 | 27人 | 延べ50人 | 近世の村など、テーマを定めて市内外のフィールドワークを行い、地域のさまざまな文化遺産や民俗を見学した。 |
| 6 | 水曜会 | 21人 | 延べ12人 (※新型コロナウイルスの影響により活動は1回のみ) | 旧津久井郷土資料室に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を行った。 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|----|---------------|-----|--------|--|
| 7 | 相模原市立博物館天文クラブ | 15人 | 延べ48人 | 博物館と協働して、月面等の写真撮影及び資料化、身近に起きる天文現象の記録と資料化を図り、資料の保存事業や展示観測会等の教育普及事業に協力する活動を行った。 |
| 8 | 福の会 | 5人 | 延べ106人 | 寄贈された竹細工道具等の整理を行ったほか、収蔵庫や民俗関係の常設展示室の清掃作業などを実施した。また、資料整理の成果として、学習資料展の一部で展示を行った。 |
| 9 | 相模原動物標本クラブ | 21人 | 延べ20人 | 博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。 |
| 10 | 相模原水生動物調査会 | 20人 | 延べ20人 | 市域を中心とした水域で水生動物調査を行い、室内で同定学習会などを実施した。 |

IV 資料管理

1 博物館収蔵資料点数

| 分野 | 分類 | 保管場所 | 収蔵点数 (R3. 9. 30現在) | 収蔵点数 (R4. 3. 31現在) | 増 減 | 単位 |
|----------|------------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|-----|-----|
| 考 古 | 考古資料 | 考古資料収蔵庫 | 6,569 | 6,616 | 47 | 箱 |
| | | 自然・歴史展示室 | 898 | 898 | 0 | 点 |
| | | 他館等長期貸出資料 | 676 | 676 | 0 | 点 |
| | 分野 計 | | 8,143 | 8,190 | 47 | 箱/点 |
| 歴 史 | 歴史資料 | 古文書収蔵庫 | 5,073 | 5,073 | 0 | 点 |
| | | 生活資料収蔵庫 | 1,209 | 1,209 | 0 | 点 |
| | | 特別収蔵庫 | 66,899 | 66,899 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 126 | 126 | 0 | 点 |
| | 軍事資料 | 生活資料収蔵庫 | 1,638 | 1,638 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 34 | 34 | 0 | 点 |
| | 古文書等市史資料 (旧役場文書は除く) | 古文書収蔵庫 | 3,322 | 3,322 | 0 | 点 |
| | 古文書等市史資料 | 特別収蔵庫 | 21,742 | 21,742 | 0 | 点 |
| | 購入資料 | 特別収蔵庫 | 112 | 112 | 0 | 点 |
| | 地図・写真資料 | 図面保管庫 | 5,911 | 5,911 | 0 | 点 |
| 分野 計 | | 106,066 | 106,066 | 0 | 点 | |
| 民 俗 | 民俗・生活資料 | 生活資料収蔵庫 大型資料収蔵庫 | 23,106 | 23,106 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 141 | 141 | 0 | 点 |
| | | 他館等長期貸出資料 | 36 | 36 | 0 | 点 |
| | 分野 計 | | 23,283 | 23,283 | 0 | 点 |
| 地 質 | 化石資料 | 地質資料収蔵庫等 | 261 | 262 | 1 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 50 | 50 | 0 | 点 |
| | 岩石・鉱物資料等 | 地質資料収蔵庫等 | 4,162 | 4,209 | 47 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 34 | 34 | 0 | 点 |
| | テフラ資料 | 地質資料収蔵庫等 | 7,083 | 7,084 | 1 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 12 | 12 | 0 | 点 |
| | ポーリング資料 | 地質資料収蔵庫 | 192 | 192 | 0 | 点 |
| | 砂礫等資料 | 地質資料収蔵庫等 | 732 | 735 | 3 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 5 | 5 | 0 | 点 |
| | 剥ぎ取り資料 | 地質資料収蔵庫等 | 49 | 49 | 0 | 点 |
| 自然・歴史展示室 | | 4 | 4 | 0 | 点 | |
| 分野 計 | | 12,584 | 12,636 | 52 | 点 | |
| 動 物 | 魚類 | 液浸標本収蔵庫 | 40 | 40 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 16 | 16 | 0 | 点 |
| | 昆虫類 | 動植物資料収蔵庫 | 39,151 | 39,151 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 18 | 18 | 0 | 点 |
| | 小動物等 | 液浸標本収蔵庫等 | 2,891 | 2,891 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 14 | 14 | 0 | 点 |
| | 鳥類 | 動植物資料収蔵庫等 | 201 | 201 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 40 | 40 | 0 | 点 |
| | 哺乳類 | 動植物資料収蔵庫等 | 30 | 30 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 4 | 4 | 0 | 点 |
| 分野 計 | | 42,405 | 42,405 | 0 | 点 | |
| 植 物 | 乾燥標本等 | 動植物資料収蔵庫 | 56,635 | 56,635 | 0 | 点 |
| | | 自然・歴史展示室 | 21 | 21 | 0 | 点 |
| | 植物画資料 | 動植物資料収蔵庫 | 6 | 6 | 0 | 点 |
| 分野 計 | | 56,662 | 56,662 | 0 | 点 | |
| 天 文 | 天文資料 | フィルム収蔵庫 | 2,028 | 2,028 | 0 | 点 |
| | | 特別収蔵庫 | 0 | 0 | 0 | 点 |
| | | 天文展示室等 | 26 | 26 | 0 | 点 |
| | 分野 計 | | 2,054 | 2,054 | 0 | 点 |
| 合 計 | | | 251,197 | 251,296 | 99 | 点 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

館内収蔵美術品資料点数リスト

館内収蔵美術品（文化振興課扱）

| 分野 | 分類 | 保管場所 | 収蔵点数 (R3. 9. 30現在) | 収蔵点数 (R4. 3. 31現在) | 増減 | 単位 |
|-----|----|---------|-----------------------|-----------------------|----|----|
| 美術品 | 絵画 | 美術品収蔵庫 | 418 | 418 | 0 | 点 |
| | 書 | 美術品収蔵庫 | 56 | 56 | 0 | 点 |
| | 彫刻 | 美術品収蔵庫 | 2 | 2 | 0 | 点 |
| | 写真 | フィルム収蔵庫 | 2,112 | 2,112 | 0 | 点 |
| 合計 | | | 2,588 | 2,588 | 0 | 点 |

館内収蔵市史資料

館内収蔵市史資料

| 分野 | 分類 | 保管場所 | 収蔵点数 (R3. 9. 30現在) | 収蔵点数 (R4. 3. 31現在) | 増減 | 単位 |
|------|-----------------|--------|-----------------------|-----------------------|----|----|
| 市史資料 | 行政資料 (旧役場文書) | 古文書収蔵庫 | 600 | 600 | 0 | 点 |

博物館関係施設収蔵資料点数リスト

| 分野 | 分類 | 施設名 | 収蔵点数 (R3. 9. 30現在) | 収蔵点数 (R4. 3. 31現在) | 増減 | 単位 |
|-----|------|-----------|-----------------------|-----------------------|----|-----|
| 考古 | 考古資料 | 藤野第2資料保管庫 | 411 | 411 | 0 | 箱 |
| | | 城山郷土資料保管庫 | 309 | 309 | 0 | 箱 |
| | | 吉野宿ふじや | 75 | 75 | 0 | 点 |
| | 分野計 | | 795 | 795 | 0 | 展/箱 |
| 歴史 | 歴史資料 | 尾崎罌堂記念館 | 4,078 | 4,078 | 0 | 点 |
| | | 小原本陣・小原の郷 | 254 | 254 | 0 | 点 |
| | | 城山郷土資料保管庫 | 0 | 0 | 0 | 箱 |
| | | 吉野宿ふじや | 669 | 669 | 0 | 点 |
| 分野計 | | 5,001 | 5,001 | 0 | 点 | |
| 民俗 | | 小原本陣・小原の郷 | 401 | 401 | 0 | 点 |
| | | 城山郷土資料保管庫 | 850 | 850 | 0 | 点 |
| | | 吉野宿ふじや | 1,470 | 1,470 | 0 | 点 |
| | 分野計 | | 2,721 | 2,721 | 0 | 点 |
| 動物 | 昆虫類 | 吉野宿ふじや | 115 | 115 | 0 | 点 |
| 合計 | | | 8,632 | 8,632 | 0 | |

博物館関係施設別一覧

| 施設 | 分野 | 分類 | 収蔵点数 (R3. 9. 30現在) | 収蔵点数 (R4. 3. 31現在) | 増減 | 単位 |
|-----------|-------|--------|-----------------------|-----------------------|----|-----|
| 藤野第2資料保管庫 | 考古 | 考古資料 | 411 | 411 | 0 | 箱 |
| 尾崎罌堂記念館 | 歴史 | 歴史資料 | 4,078 | 4,078 | 0 | 点 |
| 小原本陣・小原の郷 | 歴史 | 歴史資料 | 254 | 254 | 0 | 点 |
| | 民俗・地理 | 民俗生活資料 | 401 | 401 | 0 | 点 |
| | 施設計 | | 655 | 655 | 0 | 点 |
| 城山郷土資料保管庫 | 考古 | 考古資料 | 309 | 309 | 0 | 箱 |
| | 歴史 | 歴史資料 | 0 | 0 | 0 | 箱 |
| | 民俗・地理 | 民俗生活資料 | 850 | 850 | 0 | 点 |
| | 施設計 | | 1,159 | 1,159 | 0 | 箱/点 |
| 吉野宿ふじや | 考古 | 考古資料 | 75 | 75 | 0 | 点 |
| | 歴史 | 歴史資料 | 669 | 669 | 0 | 点 |
| | 民俗・地理 | 民俗生活資料 | 1,470 | 1,470 | 0 | 点 |
| | 動物 | 昆虫類 | 115 | 115 | 0 | 点 |
| | 施設計 | | 2,329 | 2,329 | 0 | |
| 合計 | | | 8,632 | 8,632 | 0 | |

2 収集・整理

| 分野 | 内 容 |
|----|--|
| 考古 | 発掘調査報告書刊行済の出土品の移管及び再整理、寄贈考古資料の整理作業、鉄製品の保存処理 |
| 歴史 | 寄贈・寄託(予定含む)歴史資料の分類整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理、旧津久井郷土資料室所蔵紙資料の整理 |
| 民俗 | 民俗資料の収集、収蔵資料のカード・収蔵番号の整備、城山郷土資料収蔵庫資料の確認等の諸整理 |
| 動物 | 動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業 |
| 植物 | 植物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業 |
| 地質 | 地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理 |
| 天文 | 天体・天文現象・太陽の撮影やデータの整理 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集 |

3 有害生物管理の実施

(1) 受入れ資料のくん蒸

殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤(エキヒュームS)を用いた定期的なくん蒸を、洗浄・乾燥室において2回、受入れ資料を対象に、被覆法により実施した。周辺環境に配慮し、排気中のガス濃度が0ppmになるよう活性炭吸着排気を行った。

(2) 有害生物調査

7月～10月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

4 資料の特別利用

利用総件数 97 件(令和3年度中に利用申請されたもの) <申請日順>

| | 申請者 | 利用区分 | 利用目的 | 利用期間 | 分野 | 利用資料 |
|----|---------------------|---------|------|------------|----|---------------------------|
| 1 | 個人 | 閲覧 | 調査研究 | 4月3日 | 民俗 | 脱穀機 |
| 2 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 4月6日 | 歴史 | 旧城山八木平介家文書(コピー) |
| 3 | 個人 | 閲覧・複写撮影 | 調査研究 | 4月10日 | 考古 | 小原宿本陣屋敷跡出土の煉瓦 |
| 4 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 4月11日 | 歴史 | 上溝村・厚木町迅速側図 |
| 5 | 市交通政策課 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 4月14日 | 歴史 | 相模原市史 相模線関係写真資料ほか |
| 6 | 日本テレビ放送網(株) | 写真データ利用 | 番組制作 | 4月13日 | 市史 | 相模原市史現代図録編 糸取り写真 |
| 7 | 個人 | 閲覧 | 調査研究 | 4月15日 | 歴史 | 国土地理院地図 昭和29年 原町田 1/25000 |
| 8 | 立川市産業文化スポーツ部 市史編さん室 | 出版掲載 | 出版掲載 | 3月11日～ | 考古 | 大日野原遺跡土偶装飾付土器写真 |
| 9 | 市文化財保護課 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 5月7日 | 考古 | 上溝4丁目彼岸沢遺跡第2地点 出土縄文土器 |
| 10 | 旧笹野家を考える会 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 5月11日 | 歴史 | 笹野家文書(質渡世免許鑑札) |
| 11 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 5月28日 | 歴史 | 上溝地区の地図 |
| 12 | 個人 | 閲覧 | 調査研究 | 6月1日 | 歴史 | 昭和31年他航空写真 |
| 13 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 6月1日 | 歴史 | 昭和17年他航空写真 |
| 14 | (公財)神奈川公園協会 | 館外貸し出し | 展示 | 6月1日～3月31日 | 考古 | 津久井城跡出土遺物 |
| 15 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 6月2日 | 歴史 | 写真週報・主婦の友(昭和10年代) |
| 16 | 市文化財保護課 | 閲覧 | 資料調査 | 6月17日 | 考古 | 田名塩田遺跡群A地区(向原遺跡)出土品 |
| 17 | (公財)神奈川観光協会 | 掲載 | 出版掲載 | 6月26日～ | 考古 | 田名塩田遺跡群出土クルミ形土器 |
| 18 | 市中央土木事務所 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 6月3日 | 歴史 | 平成2年・8年航空写真 |

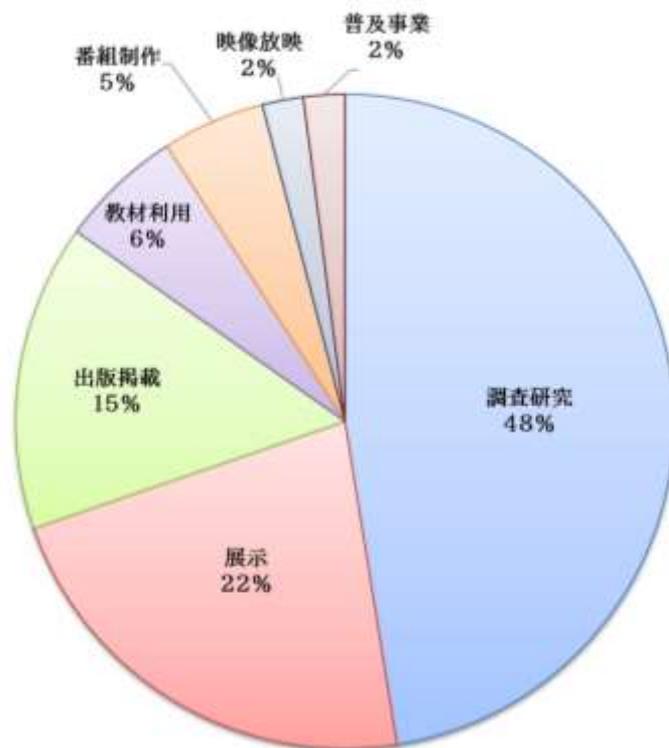
令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | | | |
|----|----------------------|----------|---------|---------------|----|---------------------------------|
| 19 | 市文化財保護課 | 閲覧 | 調査研究 | 6月4日 | 考古 | 迅速図「橋本村」明治15年、地形図「八王子」「豊田」大正10年 |
| 20 | 個人 | 閲覧 | 調査研究 | 6月9日 | 歴史 | 千人針、焼夷弾 |
| 21 | 県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課 | 写真データ利用 | 番組制作 | 6月15日～ | 考古 | 田名塩田遺跡群黒曜石原石ほか |
| 22 | 朝日新聞出版書籍編集部 | 掲載 | 出版掲載 | 6月15日 | 考古 | 勝坂遺跡D区出土マメ圧痕土器写真・実測図 |
| 23 | 島根県立古代出雲歴史博物館 | 館外貸出し・掲載 | 展示 | 7月5日～12月10日 | 考古 | 勝坂遺跡D区出土マメ圧痕土器・写真 |
| 24 | 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森 | 写真データ利用 | 教材利用 | 6月29日～ | 考古 | 大日野原遺跡土偶装飾付土器・人体文付土器写真 |
| 25 | 県央地域県政総合センター森林部 | 館外貸し出し | 調査研究 | 6月24日～7月23日 | 歴史 | 久保田百五十年史 |
| 26 | ㈱タウンニュース社 | 撮影 | 出版掲載 | 6月24日～7月1日 | 歴史 | 1964年聖火リレー写真・記念バッジ |
| 27 | ㈱テレビ朝日 | 写真データ利用 | 映像放映 | 6月24日～7月12日 | 民俗 | 火のし写真 |
| 28 | 個人 | 模写 | 調査研究 | 6月29日 | 歴史 | 下溝福田家資料(マイクロ写し) |
| 29 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 調査研究 | 6月29日～12月1日 | 考古 | 田名塩田遺跡群A地区(向原遺跡)出土品 |
| 30 | 個人 | 撮影 | 調査研究 | 7月7日 | 民俗 | 年中行事メモ(鈴木重三資料) |
| 31 | 日本テレビ放送網(株) | 写真データ利用 | 番組制作 | 7月12日 | 民俗 | 火のし写真 |
| 32 | 史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館 | 掲載 | 教材利用 | 8月1日～ | 考古 | 勝坂遺跡有鹿谷地点出土珠文鏡・田名半在家遺跡出土龍文鏡 |
| 33 | 史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館 | 掲載 | 教材利用 | 7月30日～ | 考古 | 勝坂遺跡有鹿谷地点出土珠文鏡 |
| 34 | 市文化財保護課 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 7月22日 | 考古 | 相原八幡前遺跡出土品ほか46点 |
| 35 | テレビマンユニオン | 閲覧・撮影 | 番組制作 | 7月23日 | 民俗 | 相模原文化財記録映画「相模原の川漁」 |
| 36 | 仙台市富沢遺跡保存館 | 写真データ利用 | 展示 | 8月6日～10月3日 | 考古 | 田名向原遺跡住居状遺構の写真ほか2点 |
| 37 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 展示 | 7月30日～9月3日 | 考古 | 相原八幡前遺跡出土品ほか41点 |
| 38 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 展示 | 8月1日～9月3日 | 考古 | 大日野原遺跡出土土偶装飾付深鉢型土器 |
| 39 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 7月31日 | 歴史 | 大島高橋能子家資料絵図21点 |
| 40 | 県立歴史博物館 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 8月5日 | 歴史 | 小原清水家資料他 |
| 41 | (公財)かながわ考古学財団 | 写真データ利用 | 普及事業 | 8月24日～11月29日 | 考古 | 津久井城跡発掘調査写真 |
| 42 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 調査研究 | 8月23日～8月27日 | 考古 | 苦久保遺跡出土品 |
| 43 | ㈱ポストウェイ | 写真データ利用 | 出版掲載 | 9月10日 | 民俗 | 十五夜写真2点 |
| 44 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 調査研究 | 8月20日～3月30日 | 考古 | 市登録史跡大島中ノ郷のヤツボ採集資料 |
| 45 | 市文化財保護課 | 写真データ利用 | 調査研究 | 9月30日～ | 考古 | 大地開戸遺跡第2次調査 SK30、SK53の写真 |
| 46 | 市文化財保護課 | 閲覧 | 調査研究 | 9月7日 | 考古 | 田名塩田遺跡群A地区(向原遺跡)出土品 |
| 47 | 市文化財保護課 | 写真データ利用 | 出版掲載 | 9月10日 | 考古 | 津久井城御屋敷曲輪3号石組水路写真 |
| 48 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 展示 | 9月30日～11月11日 | 考古 | 相原八幡前遺跡出土品ほか41点 |
| 49 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 展示 | 10月1日～11月11日 | 考古 | 大日野原遺跡出土土偶装飾付深鉢型土器 |
| 50 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 展示 | 9月30日～11月11日 | 考古 | 川尻遺跡出土遺物65点ほか |
| 51 | 市公文書館 | 館外貸し出し | 調査研究 | 10月12日～10月23日 | 歴史 | 新戸石川家資料など |
| 52 | 個人 | 撮影 | 展示 | 10月5日 | 歴史 | 臨時東京第三陸軍病院配置図 |
| 53 | 市立淵野辺東小学校 | 館外貸し出し | 教材利用 | 10月7日～10月15日 | 地質 | 鵜野森方面新設中学校ボーリングコア4点ほか |
| 54 | 平塚市博物館 | 写真データ利用 | 展示、出版掲載 | 10月7日～1月10日 | 地質 | 相模野台地航空写真 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | | | |
|----|------------------|------------|---------------|--------------------|----|---------------------------------------|
| 55 | 個人 | 撮影 | 調査研究 | 10月13日 | 歴史 | 磯部中村家文書15点 |
| 56 | 個人 | 閲覧・写し | 調査研究 | 10月17日 | 歴史 | 旧当麻村無量光寺文書 |
| 57 | 史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館 | 写真データ利用 | 普及事業 | 10月20日～ 11月20日 | 考古 | 田名塩田遺跡群発掘調査写真 |
| 58 | 個人 | 写し | 調査研究 | 10月22日 | 歴史 | 磯部村 栗山家文書 |
| 59 | 国立歴史民俗博物館 | 館外貸出し | 展示 | 4月1日～ 3月31日 | 考古 | 田名向原遺跡出土石器 |
| 60 | 市公文書館 | 館外貸し出し | 調査研究 | 10月27日～ 12月25日 | 歴史 | 新戸石川家資料など |
| 61 | 個人 | 撮影 | 調査研究 | 10月31日 | 歴史 | 相州三増峠図 |
| 62 | 県立総合教育センター | 出版掲載 | 出版掲載 | 11月2日 | 市史 | 大野青年学校往復文書(市史収蔵資料) |
| 63 | 市立弥栄小学校 | 写真データ利用 | 教材利用 | 11月2日～ 3月31日 | 地質 | 常設展示室田名原段丘堆積物剥ぎ取り標本写真 |
| 64 | 個人 | 閲覧 | 調査研究 | 11月12日 | 歴史 | 迅速測量図(明治15年) |
| 65 | 個人 | 撮影 | 調査研究 | 11月18日 | 歴史 | 城山町八木平介・八木達次・八木幸子家資料 |
| 66 | 個人 | 撮影 | 調査研究 | 11月19日 | 歴史 | 牧野支所移管資料 |
| 67 | 大野南公民館 | 出版掲載 | 出版掲載 | 11月19日 | 市史 | 米軍医療センター写真 |
| 68 | 個人 | 閲覧・写し | 調査研究 | 11月21日 | 民俗 | レコード「相模原音頭」 |
| 69 | 個人 | 閲覧・撮影 | 展示 | 11月23日 | 市史 | 景観調査報告書(市史収蔵資料) |
| 70 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 11月25日 | 歴史 | 座間末治家・大野村青年団資料 |
| 71 | 大野中公民館 | 写真データ利用 | 出版掲載 | 12月2日 | 考古 | 津久井城御屋敷跡全景写真 |
| 72 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 12月5日 | 地質 | 迅速測図「橋本村」「中津村」明治15年、地形図「上溝」「原町田」昭和22年 |
| 73 | 個人 | 閲覧 | 調査研究 | 12月7日 | 歴史 | 昭和17年航空写真 |
| 74 | J:COM(株) | 写真データ利用 | 番組制作 | 1月1日～ 1月31日 | 歴史 | 尾崎亭堂日記帳写真 |
| 75 | 史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館 | 模造・写真データ利用 | 教材利用 | 12月13日～ 1月31日 | 考古 | 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料 |
| 76 | | | 展示 | 12月14日 | 市史 | 景観調査報告書(市史収蔵資料) |
| 77 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究・ 映像放映 | 12月15日 | 考古 | 勝坂遺跡D区出土マメ圧痕土器 |
| 78 | 医療法人徳寿会相模原中央病院 | 写真データ利用 | 出版掲載 | R4年4月25日 | 市史 | 相模原警察署前十字路から西門方面写真 |
| 79 | 個人 | 閲覧・撮影 | 調査研究 | 12月16日 | 市史 | 昭和19年学童集団疎開関係書類 |
| 80 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 12月23日 | 歴史 | 城山八木平介文書 |
| 81 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 12月26日 | 歴史 | ふるさと鳥屋村四方山話ほか |
| 82 | 市文化財保護課 | 写真データ利用 | 出版掲載 | 2月28日～ | 考古 | 長竹舟久保遺跡第2地点J1号住 |
| 83 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 1月10日 | 歴史 | 迅速図「煤ヶ谷」、「川尻」ほか計4枚 |
| 84 | 市文化財保護課 | 館外貸し出し | 展示 | 1月21日～ 3月23日 | 考古 | 市指定文化財当麻東原古墳勾玉など50点 |
| 85 | 市文化財保護課 | 写真データ利用 | 展示 | 2月1日～ 2月28日 | 歴史 | 昭和初期の上溝の街並み |
| 86 | (株)タウンニュース社 | 写真データ提供 | 出版掲載 | 2月10日 | 歴史 | 横山党関係伝承地写真 |
| 87 | 市文化財保護課 | 写真データ利用 | 出版掲載 | 3月30日～ | 歴史 | 大島村絵図 |
| 88 | (公財)神奈川県公園協会 | 館外貸し出し | 展示 | R4年4月1日～ 3月31日 | 考古 | 津久井城跡出土遺物 |
| 89 | 県立歴史博物館 | 写真データ利用 | 展示 | 3月2日～ 3月25日 | 民俗 | 年中行事写真 |
| 90 | 市下水道経営課 | 写真データ利用 | 展示 | 3月14日 | 歴史 | 下水道工事写真 |
| 91 | 座間市教育委員会生涯学習課 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 3月15日 | 歴史 | 2万5千分の一地形図 座間 |
| 92 | (株)ワン・パブリッシング | 写真データ利用 | 出版掲載 | 3月28日 | 歴史 | 伊勢宗瑞制札(無量光寺文書) |
| 93 | 国立民族学博物館 | 館外貸し出し | 展示 | R4年4月1日～ 3月31日 | 民俗 | 鍬ほか |
| 94 | 個人 | 閲覧・複写 | 調査研究 | 3月30日 | 歴史 | 地形図(相模原市S27. S31)相模原演習場陸地測量部S12 ほか2点 |
| 95 | 山梨県立考古博物館 | 写真データ利用 | 展示 | R4年4月16日～ 6月12日 | 考古 | 大日野原遺跡出土の土偶付深鉢形土器 |
| 96 | 市文化財保護課 | 館外貸出し | 展示 | R4年4月1日～ 3月31日 | 考古 | 田名塩田遺跡群出土遺物 |
| 97 | 市文化財保護課 | 館外貸出し | 展示 | R4年4月1日～ 3月31日 | 考古 | 勝坂遺跡出土遺物 |

資料の特別利用内訳



| 利用目的 | 件数 |
|------|----|
| 調査研究 | 47 |
| 展示 | 22 |
| 出版掲載 | 15 |
| 教材利用 | 6 |
| 説明資料 | 0 |
| 番組制作 | 5 |
| 映像放映 | 2 |
| 普及事業 | 2 |
| 合計 | 99 |

※複数の目的がある利用があったため、合計は利用件数とは一致しない

5 JAXA宇宙科学研究所からの借用物

| No. | 資料名 | 借用開始日 | 返却日 | 保管場所 |
|-----|---------------------------------------|----------|----------|--------|
| 1 | 火星探査機「のぞみ」1/1模型 | H28.6.1 | | エントランス |
| 2 | 「はやぶさ」1/1模型 | H29.9.11 | | エントランス |
| 3 | 大西宇宙飛行士がISSへ持ち込んだ、「はやぶさ2」と小惑星リュウグウの模型 | H29.8.26 | | エントランス |
| 4 | M-V5号機1/50模型 | 不明 | | 天文展示室 |
| 5 | イオンエンジンμ10模型 | H30.6.8 | | 天文展示室 |
| 6 | カーボングリッド | H30.6.8 | | 天文展示室 |
| 7 | 「あけぼの」1/5模型 | H30.7.21 | | 天文展示室 |
| 8 | 「ひてん」実寸大模型(試験モデル) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 9 | 「ひてん」光学航法用カメラによる月衝突直前の月面写真パネル | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 10 | M-3SIIロケットに結合された第13号科学衛星MUSES-A 写真パネル | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 11 | SLIM 実寸大模型(熱構造試験モデル) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 12 | SLIM 着陸地点模型 | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 13 | SLIM 着陸地点 LRO 画像縦幕 | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 14 | SLIM 着陸地点マルチバンドイメージャ画像パネル | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 15 | 「かぐや(SELENE)1/10 模型」 | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 16 | 地形カメラ(TC)/マルチバンドイメージャ(MI)のプロトモデル | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | | | |
|----|-------------------------------|---------|----------|-----------------|
| 17 | 地形カメラ(TC)の集光部と CCD 基板(プロトモデル) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 18 | 地形カメラ(TC)の検出器(補助品) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 19 | マルチバンドイメージャ(MI)の検出器(プロトモデル) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 20 | 凹凸月球儀 着色無 φ450mm | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 21 | 凹凸月球儀 着色有 φ450mm | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 22 | 月の砂時計(模擬砂) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 23 | 月の砂(模擬砂) | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 24 | 種子島の砂 | R3.9.14 | R3.10.18 | 特別展示室 |
| 25 | 小惑星リュウグウサンプル 粒子 ID A0161 | R3.12.3 | R3.12.13 | エントランス 特別収蔵庫 |
| 26 | 小惑星リュウグウサンプル 粒子 ID C0149 | R3.12.3 | R3.12.13 | エントランス 特別収蔵庫 |

その他物品

| No. | 資料名 | 借用開始日 | 返却日 | 保管場所 |
|-----|----------------|----------|-----|--------|
| 1 | ブックスタイル説明台 | H9.4.1 | | エントランス |
| 2 | はやぶさ2のぼうけん日誌台 | 不明 | | 天文展示室 |
| 3 | スタンプラリー台(はやぶさ) | H30.2.2 | | エントランス |
| 4 | スタンプラリー台(いんせき) | H30.2.2 | | 天文展示室 |
| 5 | 「はやぶさ」パネル類(3点) | H29.9.11 | | エントランス |

6 全国科学館連携協議会からの借用物

令和3年度は借用物なし

V 調査研究

| 分野 | 担当者 | 内容と成果 |
|----|----------------|--|
| 考古 | 河本 雅人 長澤 有史 | 川坂遺跡の出土品について遺物整理を行い、発掘調査報告書を刊行した。市内を中心とする奈良、平安時代の資料調査を行い、その成果に基づいて令和3年度に考古企画展を開催した。また、文化財保護課、神奈川県公園協会とともに津久井城城坂曲輪群6号曲輪の発掘調査を市民協働調査で実施した。 |
| 民俗 | 山本 菜摘 加藤 隆志 | 家電が家庭に入ってきた頃の各家庭の受け入れによって、日常生活にどのような変化があったのか市民を対象に調査し、企画展に反映するとともに、研究報告第30集に掲載した。 収蔵資料と市内の民俗に関する写真について、再確認や整理を実施するとともに、写真に関する記事を博物館職員ブログに「写真でみる相模原」として連載した。 |
| 歴史 | 木村 弘樹 | 市内の中世から近現代関係資料について調査し、ミニ展示などを開催するとともに、研究報告第30集の中で、「軍都さがみはら企画展」に関する報告を掲載した。 |
| 生物 | 秋山 幸也 | 市内の動植物相調査を実施し、その中で明らかになった市内に生育・生息する絶滅危惧生物の保全、増殖事業を近隣大学等と連携しながら実施した。 |
| 地質 | 河尻 清和 | 相模原市内、相模川・桂川流域および関東平野西縁部の地形地質調査を実施し、調査結果の一部を日本地質学会第128年学術大会および研究報告第30集に掲載した。調査の一部は東京都立大学と合同で実施した。 |
| 天文 | 里見 聡一 | 天文現象の記録や宇宙教育普及事業を協働で行っている「相模原市立博物館天文クラブ(SMAC)」について、ここ数年の活動や観測資料を研究報告第30集で報告した。 |

・検討会委員等の派遣

| | |
|-------------------------------|-------|
| 立川市史民俗・地誌編編集委員 | 加藤 隆志 |
| 国土交通省相模川ふれあい懇談会世話人 | 秋山 幸也 |
| 国土交通省宮ヶ瀬湖河川水辺の国勢調査アドバイザー | 秋山 幸也 |
| 神奈川県丹沢大山自然再生委員会事業計画・評価専門部会部会長 | 秋山 幸也 |
| 神奈川県レッドリスト選定・評価委員会植物・菌類部会委員 | 秋山 幸也 |
| わお！な生きものフォトコンテスト審査員 | 秋山 幸也 |
| 全国野生生物保護活動発表大会審査員 | 秋山 幸也 |
| 全国野生生物保護活動功労者表彰審査員 | 秋山 幸也 |

VI 市史関連事業

1 収集・整理事業

市史及び津久井町史の編さんに際し収集した資料の整理作業を行うとともに、次の市史等の編さんに向けた資料の収集を行った。

- (1) 旧城山町教育委員会資料整理
- (2) 斎藤篤太郎日記解読
- (3) 高城治寛日記校合・校訂
- (4) 八木平介家文書「津久井県紀行詩集」漢詩読み下し
- (5) 八木平介家文書「新編相模国風土記稿関係資料」筆写
- (6) 近現代相模原市関係者名簿作成
- (7) 西野々集乳所資料 資料整理 目録作成 589 件
- (8) 青野原 山口家 資料整理 目録作成 45 件
- (9) 鳥屋 榎田家 資料確認と明細目録作成 700 件(継続中)
- (10)「相模原市史現代資料編」複写資料整理作業
・相模原市史編さん過程における複写資料の整理、資料総計 2,476 点中約 526 点
- (11)「相模原市史現代図録編」写真資料整理作業
・相模原市史編さん過程における写真資料の整理、資料総計 621 点中約 266 点
- (12)「今日のニュース」一覧表の作成
・今後の相模原市史編さんの資料とするため、112 枚 1,242 件
- (13)その他、相模原市史、津久井町史等の在庫管理等の日常業務
・市史編さん作業室内倉庫A(自治体冊子及び一般図書)整理作業 2,679 冊

2 普及事業

資料の整理・保存及び普及活動を中心に行った。

- (1)市史ミニ展示
※詳細は講座・講演会の欄(16～19 頁5(1)1・14・22・24)参照
- (2)市史・町史刊行物の販売、寄贈
博物館、公文書館、行政資料コーナー、相模原市書店協同組合加盟店(10店舗)で販売した。
市史交換会に市史・町史を 50 種類 176 冊寄贈。

VII 博物館所管施設

1 尾崎罌堂記念館(緑区又野)



外観



展示室

尾崎罌堂記念館は、「憲政の神様」といわれた尾崎行雄(罌堂)を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年1月に、「尾崎罌堂うまれ地記念事業委員会」によって建設され開館した。

昭和33年度に旧津久井町に寄贈され、平成2年に「ふるさと創生事業」にて増改築を行い、平成18年3月の市町村合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

平成28年2月、協働事業提案制度事業により常設展示をリニューアルした。

(1)施設概要

| | |
|---------|---|
| ア 住所 | 相模原市緑区又野691番地 |
| イ 電話番号 | 042-784-0660 |
| ウ 延べ床面積 | 229.62㎡ |
| エ 建物構造 | 木造1階建て |
| オ 休館日 | 月曜日(休日に当たる日を除く) 休日の翌日(休日・日曜・土曜に当たる日を除く) 年末年始(12月28日～1月3日) |
| カ 開館時間 | 午前9時～午後4時30分 |

(2)善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩で作られた高さ3メートル、幅50センチメートルの碑面には、「世人乃幸福をます言行ハみな善事之をへらす言行ハみな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、罌堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和46年に現在の場所に移設された。

(3)罌堂桜・里帰り桜



尾崎行雄が東京市長在職中の明治45年、米国ワシントンのポトマック公園に3,000本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りしたソメイヨシノなど4品種の桜苗木を「罌堂桜」と命名、その内の「普賢象」1本が平成4年、記念館の庭に植樹された。

また、平成24年には桜寄贈100周年を記念し、新たな里帰り桜「ソメイヨシノ」1本が有志により植栽され、平成29年には「尾崎行雄を全国に発信する会」との協働事業における100本の「里帰り桜」植樹事業のうち「関山」1本を敷地内に植樹した。

(4)企画展・講演会・展示

博物館主催事業及び「尾崎行雄を全国に発信する会」への委託事業「尾崎号堂記念館展示・普及事業委託」として、次の事業を開催した。

ア 博物館主催事業(1事業)

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|-----------------------------|--------------------------------|------------------|--|
| 1 | 市史ミニ展示の巡回展示第2回「斎藤篤太郎日記 その2」 | 令和2年12月10日(木)～ 令和4年6月30日(木) | 287人 (3/31時点) | 城山町史刊行後に寄贈を受けた資料をもとに、戦前に活躍した地域の教育者である斎藤篤太郎を紹介。 |

*ミニ展示の「来場者」は、期間中の入館者数

イ 尾崎行雄を全国に発信する会への委託事業(1事業)

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|----------------------|------------------------|---------|--|
| 1 | ミニ企画展「尾崎行雄の不戦運動」(再掲) | 11月6日(土)～ 12月19日(日) | 16,093人 | 尾崎行雄の不戦運動から100年目にあたることから、不戦運動の内容、刊行物、原稿などを展示し、尾崎の政治活動の一端を紹介した。 ○会場 博物館 |

*ミニ展示の「来場者」は、期間中の入館者数

2 吉野宿ふじや(緑区吉野)



外観



2階展示室

吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩(諏訪藩)の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていたが、明治29年の大火で焼失し、現在の建物は明治30年頃に建てられた。

平成元年に旧所有者から旧藤野町に建物が寄贈され、平成18年に藤野町指定重要文化財に指定された。

国道20号改良工事(歩道設置)に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成25年7月2日にリニューアルオープンした。また、平成26年4月1日には町屋遺構としての見地から市登録有形文化財に登録された。

(1)施設概要

| | |
|---------|--------------------------------|
| ア 住所 | 相模原市緑区吉野214番地 |
| イ 電話番号 | 042-687-5022 |
| ウ 延べ床面積 | 392.51㎡ |
| エ 建物構造 | 木造3階建て |
| オ 開館日 | 日曜・土曜・休日(年末年始(12月28日～1月3日)を除く) |
| カ 開館時間 | 午前10時～午後4時 |

(2)企画展(3事業)

平成29年度に提案型プロポーザル方式で選定した「NPO法人ふじの里山くらぶ」へ委託した「吉野宿ふじや活性化事業」の企画展は、令和3年度は次のとおり実施した。

| | 事業名 | 実施日 | 来場者 | 内容・備考 |
|---|----------------------------|---|------|---|
| 1 | 「小淵村の昔むかし」展 | 7月25日(土)～ 8月5日(日)、10月1日 (金)～10月17日(日) | 257人 | 緑区小淵村に伝わっている古地図や引き札などを紹介した。 |
| 2 | 「いまきみち・西村繁男・にしむらあつこ 絵本原画」展 | 10月23日(土)～ 11月28日(日) | 585人 | 緑区吉野在住で、絵本原画家として活躍されている三人の絵本原画を展示し紹介した。 |
| 3 | 「甲州道中－相模湖・藤野・上野原－おひな様」展 | 2月12日(土)～ 3月13日(日) | 602人 | 藤野、相模湖、上野原で「雛まつり」がどのように行われてきたか、その歴史を写真や文献で紹介した。 |
| | 関連事業「ひな人形づくり」体験 | 2月19日(土)、26日(土) | 20人 | ひな人形作成キットを配布した。 |

3 入館者数一覧

(1)尾崎峯堂記念館

| | 利用人数(人) | 開館日数(日) | 1日平均(人) |
|---------|---------|---------|---------|
| 平成 29年度 | 1,559 | 305 | 5.1 |
| 30年度 | 1,738 | 306 | 5.7 |
| 令和 元年度 | 1,700 | *1 280 | 6.1 |
| 2年度 | 582 | *2 190 | 3.1 |
| 3年度 | 815 | *3 255 | 3.2 |

*1 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

*2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月21日(日)休館

*3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日(金)～9月30日(木)休館

(2)吉野宿ふじや

| | 利用人数(人) | 開館日数(日) | 1日平均(人) |
|---------|---------|---------|---------|
| 平成 29年度 | 1,554 | *1 115 | 13.5 |
| 30年度 | 2,012 | 115 | 17.5 |
| 令和 元年度 | 1,711 | *2 109 | 15.7 |
| 2年度 | *3 562 | *4 72 | 7.8 |
| 3年度 | 1,305 | 98 | 13.3 |

*1 平成29年4月から土・日曜・祝日のみ開館

*2 令和元年東日本台風のため、令和元年10月12日(土)～13日(日)午後1時及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(火)休館

*3 団体による平日の利用人数を含めると584人/73日

*4 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日(水)～6月5日(金)及び令和3年1月13日(水)～3月26日(金)休館

*5 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月6日(金)～9月30日(木)休館

Ⅷ 企画展(特別展示)、プラネタリウム・全天周映画一覧

令和3年度 企画展・プラネタリウム・全天周映画一覧

| 月 | 企画展 | プラネタリウム | 全天周映画 |
|---|---|---|--|
| 4 | 考古企画展 「変化の時代を生きた縄文人」 4.1～5.9 | リーベルタース 天文台だより ～春の星座の物語～ 4.1～5.30 | 星座 ～星座のヒストリー～ 4.1～4.4 |
| 5 | 東京オリンピック・パラリンピックに向けた関連企画展 「相模原にオリンピックがくる」 5.22～7.4 | | 星空さんぽ～春～ 4.6～5.30 |
| 6 | | 【8.6以降中止】 リーベルタース 天文台だより ～夏の星座の物語～ 6.5～8.29 | 【8.6以降中止】 ヤドカリくん、 ほしをみに (同時上映) まくまくんの星空 大冒険(春) 4.6～5.30 |
| 7 | 【8.6以降中止】 「軍都さがみはら 展～国内最大の 町誕生物語～」 7.17～8.29 | | 【8.6以降中止】 星空さんぽ～夏～ 6.1～8.31 |
| 8 | 【8.6以降中止】 「わお！な生きもの のフォトコンテスト 写真展」 7.22～8.29 | | 【8.6以降中止】 Odyssey ～果てしなく美し い宇宙～ (同時上映) まくまくんの星空 大冒険(夏) 6.1～8.31 |
| 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令に伴う休館 8.6～9.30 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | 【9.14から開始日延期】 JAXA連携企画展「相模原と月」 10.1～10.17 | 【9.14から開始日延期】 リーベルタース 天文台だより ～秋の星座の物語～ 10.2～11.28 | イナズマデリバ リーバイザウェイ の宇宙旅行?! (同時上映) まくまくんの星空 大冒険(秋) 10.1～11.30 |
| 11 | | | |
| 12 | 学習資料展 「道具が変えるわたしの暮らし ～過去から未来へ向かう記憶～2」 10.30～1.10 | リーベルタース 天文台だより ～冬の星座の物語～ 12.4～2.27 | 星空さんぽ～冬～ 12.1～12.23 |
| 1 | | | ノーマン・ザ・ スノーマン ～北の国のオーロラ～ 12.24～12.26 |
| 2 | 考古企画展 「古代相模原台地の開発」 1.29～3.13 | | イナズマデリバ リーバイザウェイ の宇宙旅行?! (同時上映) まくまくんの星空 大冒険(冬) 12.1～2.27 |
| | | | HAYABUSA2 ～REBORN 帰還バージョン 10.1～3.31 |
| | | | 星空さんぽ～冬～ 1.4～2.10 |
| | | | ノーマン・ザ・ スノーマン ～北の国のオーロラ～ 2.11～2.13 |
| | | | 星空さんぽ～冬～ 2.15～2.27 |
| 3 | 館野鴻絵本原画展 「がろあむし 描かれた相模原の自然」 3.26～6.5 | プラネタリウムで宇宙た んけん！ ～ナゾの宇宙人からの メッセージ～ 3.5～3.31 | イナズマデリバ リーバイザウェイ の宇宙旅行?! (同時上映) まくまくんの星空 大冒険(春) 3.1～3.31 |
| | | | 星空さんぽ～春～ 3.1～3.31 |

IX 企画展(特別展示)ポスター一覧



考古企画展
「変化の時代を生きた縄文人
—相模原市域の縄文時代
中・後期文化—」



東京オリンピック・
パラリンピックに向けた関連企画展
「相模原にオリンピックがくる」



【8/6以降中止】
博物館×公文書館
相模原町誕生 80 年企画
「軍都さがみはら展
～国内最大の町誕生物語～」



【8/6以降中止】
「わお！な生きもの
フォトコンテスト写真展」



【9/14から開始日延期】
JAXA 連携企画展
「相模原と月」



学習資料展
「道具が変わるわたしの暮らし
～過去から未来へ向かう記憶～2」



考古企画展
「古代相模原台地の開発」



舘野鴻絵本原画展
「がろあむし
描かれた相模原の自然」

X 博物館略年表

| 年 | 月 | 事 項 |
|----------------------|-----|--|
| 昭和55年 | 4月 | 「キャンプ淵野辺留保地整備計画」に建設の検討が盛り込まれる |
| 昭和56年 | 4月 | 社会教育課に博物館準備係を設置 |
| 昭和56年 | 6月 | 博物館をつくる懇談会を設置 |
| 昭和56年 | 10月 | 博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言 |
| 昭和58年 | 2月 | (仮称)相模原市立博物館基本構想策定 |
| 昭和58年 | 6月 | 展示専門委員会の設置 |
| 昭和59年 | 3月 | 博物館展示基本計画の策定 |
| 平成 2年 | 11月 | 国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定 |
| 平成 3年 | 4月 | 博物館建設事務所設置 |
| 平成 3年 | 5月 | 建築設計候補者選考委員会の設置 |
| 平成 3年 | 7月 | 建築設計プロポーザル提案図書提出 |
| 平成 3年 | 8月 | 建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散 |
| 平成 3年 | 9月 | 建築基本設計着手 |
| 平成 4年 | 1月 | 建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出 |
| 平成 4年 | 2月 | 展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定 |
| 平成 4年 | 5月 | 建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催 |
| 平成 5年 | 6月 | 博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約 |
| 平成 6年 | 8月 | 天体観測機器設置工事契約 |
| 平成 7年 | 3月 | 相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第32号) |
| 平成 7年 | 7月 | 博物館建設工事竣工 |
| 平成 7年 | 10月 | 展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工 |
| 平成7年11月20日 開館 | | |
| 平成 8年 | 1月 | 天体観測室と観測テラスで「星空観望会」を開始 5/19 入館者数10万人を超える |
| 平成 8年 | 5月 | 入館者10万人達成記念式典 |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | |
|-------|-----|---|
| 平成 8年 | 10月 | 平成8年度第41回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞 |
| 平成 9年 | 4月 | 障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始 |
| 平成 9年 | 4月 | 隣接地に淵野辺公園第2駐車場(50台収容)が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始 |
| 平成 9年 | 5月 | 1997年度日本建築学会作品選奨受賞 |
| 平成 9年 | 10月 | 平成9年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞 |
| 平成 9年 | 11月 | 平成9年度第38回建築業協会賞受賞 |
| 平成11年 | 11月 | 11/21 入館者数50万人を超える |
| 平成12年 | 5月 | 公共建築賞優秀賞受賞 |
| 平成16年 | 1月 | 1/18 入館者数100万人を超える 入館者100万人達成セレモニー |
| 平成17年 | 1月 | 企画展示として「学習資料展」を開始 |
| 平成17年 | 4月 | 市立博物館シンボルマークを制定 |
| 平成17年 | 10月 | 開館10周年記念特別展「博物館10年の歩み」を実施 |
| 平成17年 | 11月 | 相模原市立博物館開館10周年 |
| 平成22年 | 4月 | 管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設(補助執行) |
| 平成22年 | 7月 | 小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルを世界初公開 以後、毎年JAXA連携企画展を開催 |
| 平成23年 | 4月 | 天文展示室リニューアルオープン |
| 平成23年 | 5月 | 博物館周辺の動植物を観察するミニ観察会を開始(現在は「生きものミニサロン」として実施) |
| 平成23年 | 7月 | 市内小中学校の教材利用として博物館資料の「貸出しキット」事業の開始 |
| 平成23年 | 8月 | 8/28 入館者数200万人を超える 入館者200万人達成セレモニー |
| 平成23年 | 11月 | ボランティアや中高生の部活動の発表の場として「学びの収穫祭」を開始 |
| 平成24年 | 1月 | Twitterを開設(@scm_sagapon) 「相模原市立博物館の職員ブログ」を開設 |
| 平成24年 | 2月 | 全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が5万人を超える |
| 平成25年 | 4月 | 研究者らを招き月1回、講演やワークショップを行う「さがみはら宇宙の日」を開始(令和元年度まで) |

令和3年度 相模原市立博物館 年報

| | | |
|-------|-----|---|
| 平成25年 | 7月 | 吉野宿ふじやリニューアルオープン 小惑星イトカワの微粒子を世界初公開(光学顕微鏡による直接観覧) |
| 平成25年 | 8月 | 市民協働事業で博物館と尾崎弔堂記念館にWi-Fi環境導入(尾崎弔堂記念館のWi-Fiは令和3年3月まで) |
| 平成27年 | 3月 | 吉野宿ふじや常設展示リニューアル 津久井郷土資料室を廃止 |
| 平成27年 | 6月 | 6/20 入館者数250万人を超える |
| 平成27年 | 11月 | 相模原市立博物館開館20周年 |
| 平成28年 | 2月 | 尾崎弔堂記念館常設展示リニューアル |
| 平成28年 | 4月 | プラネタリウムの操作等業務委託をPPP(Public Private Partnership)で選考した業者と契約 |
| 平成29年 | 4月 | 吉野宿ふじや活性化事業を公募型プロポーザル方式で選考した団体と契約 |
| 平成31年 | 3月 | 3/19 入館者数300万人を超える 来館者数300万人達成記念事業実施 |
| 平成31年 | 4月 | 市史編さん班廃止 |
| 令和 2年 | 9月 | 「ネットで楽しむ博物館(YouTube・相模原市立博物館公式チャンネル)」を開設 |
| 令和 2年 | 11月 | 相模原市立博物館開館25周年 相模原市立博物館開館25周年記念ポストカード作成・販売開始 |
| 令和 3年 | 2月 | 博物館入口に「さがみん×はやつー君デザインマンホール蓋」を設置 |
| | 3月 | 小惑星探査機「はやぶさ2」の帰還カプセルを世界初公開 |
| | 7月 | 博物館キャラクター「おびのっち」が商標原簿に登録 |
| | 12月 | 小惑星探査機「はやぶさ2」の小惑星リュウグウサンプルを公開 |

付 録

○相模原市立博物館条例

平成7年3月23日

条例第13号

改正 平成11年12月22日条例第58号

平成21年12月22日条例第36号

平成24年3月27日条例第21号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、相模原市立博物館(以下「博物館」という。)を相模原市中央区高根3丁目1番15号に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(観覧料)

第3条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、プラネタリウム投影又は全天周映画を観覧しようとするときは、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 利用者は、特別な企画の展示が行われている場合において、当該展示に係る資料を観覧しようとするときは、教育委員会がその都度定める観覧料を納付しなければならない。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第4条 前条第1項及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(観覧料の不還付)

第5条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が、観覧料を納付した者の責めによらない理由により観覧することができないと認めるときは、この限りでない。

(利用の制限)

第6条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用を制限し、又は中止させることができる。

- (1)この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。
- (2)博物館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。
- (3)博物館の施設、設備、資料等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。
- (4)前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があると認められるとき。

(博物館資料の特別利用)

第7条 学術研究等のため、博物館資料(博物館に保管され、又は展示されている資料をいう。以下同じ。)の撮影、模写、模造その他の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(博物館資料の館外貸出し)

第8条 次に掲げるものは、博物館資料の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けすることができる。

- (1)国立の博物館、博物館法第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により博物館に相当する施設として指定されたもの
- (2)学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (3)社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (4)国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (5)前各号に掲げるもののほか、教育委員会が適当と認めるもの

2 館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会の承認を受けなければならない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の条件)

第9条 教育委員会は、博物館の管理上及び博物館資料の保全上必要と認める範囲内で、第7条又は前条第2項の承認に条件を付することができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(特別利用等の制限)

第10条 教育委員会は、次に掲げる博物館資料については、第7条又は第8条第2項の承認をしないものとする。

(1)保全上支障があると認めるもの

(2)寄託を受けたもので寄託者の承諾を得ていないもの

(3)著作権のあるもので著作権者の承諾を得ていないもの

(4)前3号に掲げるもののほか、教育委員会が適当でないと認めるもの

(追加〔平成11年条例58号〕)

(入館の制限等)

第11条 教育委員会は、博物館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(販売行為等の禁止)

第12条 何人も、博物館において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(追加〔平成11年条例58号〕)

(損害賠償)

第13条 博物館の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成11年条例58号〕)

(博物館協議会の設置)

第14条 博物館法第20条第1項の規定に基づき、博物館に相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

(定数)

第15条 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委員)

第16条 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1)学校教育の関係者
- (2)社会教育の関係者
- (3)家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4)学識経験のある者
- (5)市の住民

2 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会の委員は、再任されることができる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会長及び副会長)

第17条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(会議)

第18条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(運営等)

第19条 第14条から前条までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(追加〔平成24年条例21号〕)

(委任)

第20条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(一部改正〔平成11年条例58号・24年21号〕)

附 則

この条例は、公布の日から起算して9月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成7年規則第36号で平成7年11月20日から施行)

附 則(平成11年12月22日条例第58号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月27日条例第21号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

| 区分 | | 単位 | 観覧料 | |
|---------------|-----------|---------|------|------|
| | | | 大人 | 小人 |
| プラネタリウム投 影 | 個人 | 1回につき | 500円 | 200円 |
| | 団体(20人以上) | 1人1回につき | 400円 | 160円 |
| 全天周映画 | 個人 | 1回につき | 500円 | 200円 |
| | 団体(20人以上) | 1人1回につき | 400円 | 160円 |

備考

- 1 小人とは、小学校に就学するまでの4歳以上の者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者をいう。
- 2 4歳未満の者は、無料とする。

○相模原市立博物館条例施行規則

平成7年9月29日

教委規則第8号

改正 平成9年1月16日教育委員会規則第2号

平成11年3月31日教育委員会規則第10号

平成12年3月31日教育委員会規則第18号

平成14年10月1日教育委員会規則第19号

平成15年3月14日教育委員会規則第2号

平成17年3月31日教育委員会規則第3号

平成17年7月29日教育委員会規則第20号

平成19年3月30日教育委員会規則第29号

平成21年4月1日教育委員会規則第7号

平成24年3月30日教育委員会規則第9号

平成26年9月30日教育委員会規則第20号

平成27年3月30日教育委員会規則第15号

平成28年3月28日教育委員会規則第10号

平成30年9月28日教育委員会規則第12号

令和元年6月28日教育委員会規則第2号

令和2年12月28日教育委員会規則第33号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立博物館条例(平成7年相模原市条例第13号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1)月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)
- (2)休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)
- (3)前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日
- (4)前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

(一部改正〔平成27年教委規則15号〕)

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日等の周知)

第4条 教育委員会は、第2条第1項第4号の規定により休館日を定め、若しくは同条第2項の規定により休館日を開館日とするとき又は前条第2項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を告示する等市民への周知を図るものとする。

(観覧券の交付)

第5条 教育委員会は、条例第3条第1項の観覧料を納付した者にプラネタリウム投影等観覧券(第1号様式)を、同条第2項の観覧料を納付した者に特別展観覧券(第2号様式)を交付するものとする。

(観覧料の減免)

第6条 条例第4条の規定による観覧料の減額又は免除は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

(1)市内の学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程に限る。)及び特別支援学校(高等部を除く。)の児童・生徒(それぞれの引率者を含む。)が、教育課程に基づく教育活動により観覧しようとするとき。100パーセント

(2)市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園若しくは保育所又はこれらに準ずる施設が行う教育活動等により幼児(その引率者を含む。)が観覧しようとするとき。50パーセント

(3)身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害と判定を受けた者又は

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの介護者が観覧しようとするとき。 100パーセント

(4)相模原市医療費助成条例施行規則(昭和49年相模原市規則第17号)第13条第1項第2号に規定するひとり親家庭等であることの証明書に記載されている者(これに準ずる市外在住の者を含む。)が観覧しようとするとき。 100パーセント

(5)65歳以上の者が観覧しようとするとき。 50パーセント

2 前項の規定により観覧料の減額又は免除を受けようとする者は、博物館観覧料減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、前項第3号、第4号又は第5号に該当するときは、申請書の提出を省略することができる。

3 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、観覧料を、減額し、又は免除するときは博物館観覧料減免決定通知書により、減額せず、又は免除しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成9年教委規則2号・11年10号・15年2号・17年3号・20号・19年29号・21年7号・24年9号・26年20号・27年15号・28年10号・30年12号・令和2年33号〕)

(観覧料の還付手続)

第7条 条例第5条ただし書の規定により観覧料の還付を受けようとする者は、その旨及び観覧することができない理由を記載した書面にプラネタリウム投影等観覧券又は特別展観覧券を添え、教育委員会に提出しなければならない。

(特別利用の手続)

第8条 条例第7条の規定により特別利用の承認を受けようとする者は、博物館資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その特別利用を、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請した者に通知するものとする。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号〕)

(館外貸出しの手続)

第9条 条例第8条第2項の規定により館外貸出しの承認を受けようとするものは、博物館

資料特別利用等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、その館外貸出しを、承認するときは博物館資料特別利用等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請したものに通知するものとする。
- 3 館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、当該期間を延長することができる。
- 4 教育委員会は、必要があるときは、館外貸出しの期間中であっても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・26年20号〕)

(博物館資料の複写)

第10条 博物館を利用する者(以下「利用者」という。)は、別に定めるところにより、博物館資料の複写をすることができる。ただし、技術上複写をすることが困難なものその他教育委員会が適当でないと認める博物館資料については、この限りでない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(遵守事項)

第11条 利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可なく動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)又は危険若しくは不潔な物品を持ち込まないこと。
- (2) 博物館資料(第9条第2項の承認を受けたものを除く。)又は博物館の器具等を博物館外に持ち出さないこと。
- (3) 指定された場所以外の場所で飲食しないこと。
- (4) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 博物館の職員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・14年19号・令和元年2号〕)

(損傷等の届出)

第12条 博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(一部改正〔平成12年教委規則18号〕)

(協議会の庶務)

第13条 相模原市立博物館協議会(以下「協議会」という。)の庶務は、博物館で処理する。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(協議会会長への委任)

第14条 前条に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・24年9号〕)

(様式)

第15条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年教委規則29号〕、一部改正〔平成24年教委規則9号・26年20号〕)

(委任)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成12年教委規則18号・19年29号・24年9号・27年15号〕)

附 則

この規則は、平成7年11月20日から施行する。

附 則(平成9年1月16日教委規則第2号)

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月31日教委規則第10号)

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教委規則第18号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年10月1日教委規則第19号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成15年3月14日教委規則第2号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年3月31日教委規則第3号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年7月29日教委規則第20号)

この規則は、平成18年4月1日から施行し、同日以後に行う観覧料の減免について適用する。

附 則(平成19年3月30日教委規則第29号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教委規則第9号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年9月30日教委規則第20号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則(平成27年3月30日教委規則第15号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月28日教委規則第10号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(平成30年9月28日教委規則第12号)

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則(令和元年6月28日教委規則第2号)

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

附 則(令和2年12月28日教委規則第33号)

この規則は、令和3年1月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例

平成17年12月21日

条例第165号

改正 平成21年12月22日条例第36号

(趣旨)

第1条 この条例は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 尾崎^{がく}堂尾崎行雄の生誕地の屋敷跡を保存し、ゆかりの文献、遺品その他の資料を展示するとともに、青少年の勉学の場とし、その健全な育成に寄与するため、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)を相模原市緑区又野691番地に設置する。

(一部改正〔平成21年条例36号〕)

(利用の承認)

第3条 記念館を利用しようとする者は、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。承認された事項の変更をしようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、記念館の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条第1項の利用の承認をしないものとする。

(1) 記念館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 記念館の施設、器具等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失させるおそれがあると認められるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、記念館の管理上支障があると認められるとき。

(利用承認の取消し等)

第5条 教育委員会は、第3条の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)が、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは中止させることができる。この場合において、教育委員会はこれらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

- (1)利用者が第3条第2項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。
- (2)利用の申請に虚偽又は不正があったとき。
- (3)前条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4)災害その他やむを得ない理由により教育委員会が必要と認めたとき。
- (5)前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第6条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等の承認)

第7条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、記念館の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入館を拒み、又は退館させることができる。

(販売行為等の禁止)

第9条 何人も、記念館の敷地内において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第10条 利用者は、記念館の利用を終了したとき、又は第5条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、教育委員会がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第11条 記念館の施設等及び展示品等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、教育委員会の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第12条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町の編入に伴う経過措置)

2 この条例の施行の日前に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例(昭和55年津久井町条例第18号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成21年12月22日条例第36号抄)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

○相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例施行規則

平成18年2月24日

教育委員会規則第10号

改正 平成27年1月13日教育委員会規則第1号

令和2年3月31日教育委員会規則第19号

(趣旨)

第1条 この規則は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館条例(平成17年相模原市条例第165号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 相模原市立尾崎^{がく}堂記念館(以下「記念館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

(1)月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たる日を除く。)

(2)休日の翌日(休日、日曜日又は土曜日に当たる日を除く。)

(3)前2号の規定にかかわらず、12月28日から翌年の1月3日までの日

(4)前3号に掲げるもののほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、休館日を開館日とすることができる。

3 教育委員会は、第1項第4号の規定により休館日を定め、又は前項の規定により休館日を開館日とするときは、あらかじめその旨を告示等により市民に周知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用できる時間及び受付時間)

第3条 記念館を利用できる時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

2 記念館の利用に係る申請の受付時間は、開館日の午前9時から午後4時30分までとする。

(利用承認申請手続)

第4条 条例第3条第1項の規定により承認を受けようとする者(承認された事項を変更しようとする者を除く。以下「利用申請者」という。)は、相模原市立尾崎^{がく}堂記念館利用

承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、資料室の観覧の申請にあつては、口頭で行うものとする。

- 2 前項の申請書は、利用しようとする日の2日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の承認等)

第5条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請書の提出があつた場合において、その利用を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認通知書(以下「利用承認通知書」という。)により、承認しないときはその旨を利用申請者に通知するものとする。ただし、前条第1項ただし書の規定により口頭でなされた申請に対する承認又は承認しない旨の通知は、口頭で行うものとする。

- 2 前項本文の規定による利用の承認は、申請の順序に従って行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。ただし、公用又は公共のため、教育委員会が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

- 3 利用承認通知書により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の際、利用承認通知書を係員に提示し、指示を受けなければならない。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(利用の取消し及び承認事項変更の手續)

第6条 利用者は、記念館の利用の取消し又は承認された事項の変更をしようとするときは、相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認取消(変更)申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があつた場合において、利用の取消し又は承認事項の変更を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を利用者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(特別な設備等の承認手續)

第7条 条例第7条の規定により特別な設備等の承認を受けようとする者は、相模原市立尾崎弔堂記念館特別設備等承認申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があつた場合において、その特別な設

備等を、承認するときは相模原市立尾崎弔堂記念館特別設備等承認通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(販売行為等の許可手続)

第8条 条例第9条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとする者は、相模原市立尾崎弔堂記念館販売行為等許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請書の提出があった場合において、その販売行為等を、許可するときは相模原市立尾崎弔堂記念館販売行為等許可通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(遵守事項)

第9条 利用者(利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1)承認された以外の施設、器具等を利用しないこと。
- (2)許可なく建物等に張り紙をし、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (3)許可なく火気を使用しないこと。
- (4)許可なく記念館の器具等を所定の保管場所以外へ移動させないこと。
- (5)許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。
- (6)許可なく所定の場所以外の場所で飲食しないこと。
- (7)喫煙をしないこと。
- (8)騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (9)その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成27年教委規則1号・令和2年19号〕)

(職務上の立入り)

第10条 教育委員会は、記念館の管理上必要と認めたときは、係員を利用の承認をして

いる施設に立ち入らせることができる。この場合において、利用者は、当該係員の立入りを拒むことはできない。

(損傷等の届出)

第11条 記念館の施設、器具等を損傷し、又は滅失した者は、直ちにその旨を文書により教育委員会に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第12条 利用者は、記念館の利用を終了したときは、直ちに係員にその旨を告げ、点検を受けなければならない。

(様式)

第13条 この規則の規定により使用する書類の様式は、別に定める。

(追加〔平成27年教委規則1号〕)

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、記念館の管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成27年教委規則1号〕)

附 則

- 1 この規則は、平成18年3月20日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に旧津久井町立尾崎罌堂記念館の設置及び管理に関する条例施行規則(昭和55年津久井町教育委員会規則第3号)の規定により定められた様式用の用紙が残存するときは、当該用紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成27年1月13日教委規則第1号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委規則第19号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

○相模原市吉野宿ふじや管理規程

平成28年4月1日

教育委員会告示第12号

改正 平成29年4月1日教育委員会告示第5号

令和2年3月31日教育委員会告示第14号

(趣旨)

第1条 この告示は、相模原市緑区吉野214番地に所在する吉野宿ふじやの適正な保存及び活用を図るため、その管理について必要な事項を定めるものとする。

(観覧日)

第2条 吉野宿ふじやの観覧ができる日(以下「観覧日」という。)は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日とする。ただし、次に掲げる日を除く。

(1)12月28日から翌年の1月3日までの日

(2)前号に掲げる日のほか、教育委員会が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めるときは、観覧ができない日を観覧日とすることができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(団体利用の特例)

第3条 前条に規定する観覧日のほか、10人以上の団体から観覧の申込みがあった場合で教育委員会が認めたときは、観覧ができない日であっても観覧させることができる。

(追加〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができる時間)

第4条 吉野宿ふじやの観覧ができる時間は、午前10時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧ができない日等の周知)

第5条 教育委員会は、第2条第1項第2号の規定により観覧ができない日を定め、若しくは同条第2項の規定により観覧ができない日を観覧日とするとき又は前条ただし書の規定により観覧ができる時間を変更するときは、あらかじめその旨を市民に周知するもの

とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧に係る料金)

第6条 吉野宿ふじやの観覧に係る料金は、無料とする。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(観覧の制限)

第7条 教育委員会は、吉野宿ふじやの管理上適当でないと認められる者があるときは、その観覧を制限することができる。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

(遵守事項)

第8条 吉野宿ふじやを観覧する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1)施設、資料等を損傷し、又は汚損しないこと。

(2)許可なく火気を使用しないこと。

(3)許可なく飲食しないこと。

(4)喫煙をしないこと。

(5)許可なく物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしないこと。

(6)許可なく危険若しくは不潔な物品又は動物(身体障害者が利用する場合において同伴する身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬(同法第12条第1項に規定する表示をしたものに限る。)を除く。)を持ち込まないこと。

(7)騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(8)その他係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成29年教委告示5号・令和2年14号〕)

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、吉野宿ふじやの管理について必要な事項は、教育長が別に定める。

(一部改正〔平成29年教委告示5号〕)

附 則

この告示は、公表の日から施行する。

附 則(平成29年4月1日教委告示第5号)

この告示は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(令和2年3月31日教委告示第14号)

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

発行日 令和4年4月1日

相模原市立博物館

住 所 〒252-0221 相模原市中央区高根3-1-15

TEL 042-750-8030

FAX 042-750-8061

e-mail hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp

URL <http://sagamiharacitymuseum.jp/>